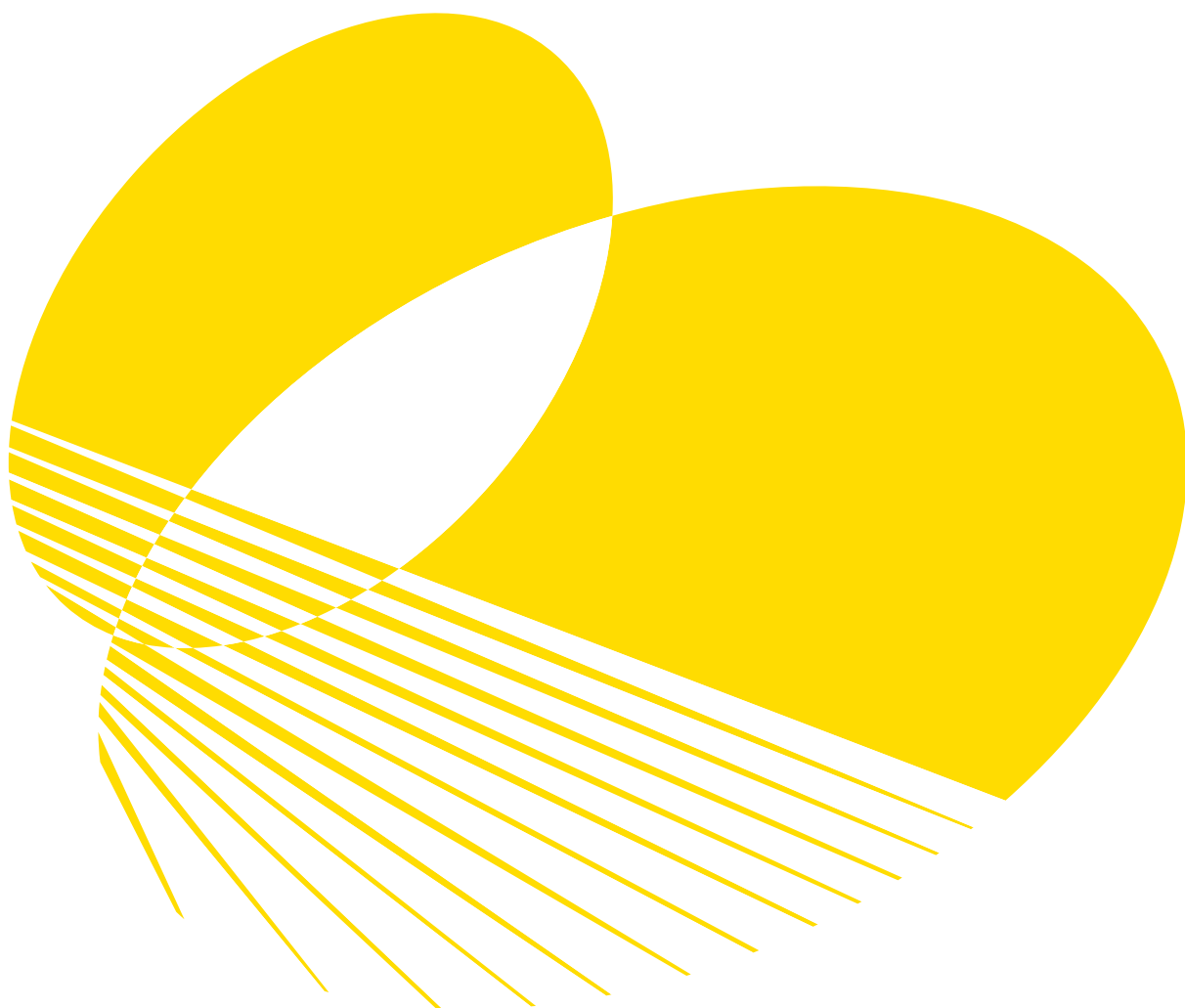


要

覧

令和6年度

(2024年度)



公益財団法人 名古屋市教育スポーツ協会

目 次

第 1 団体の概要

I 設立の目的	1
II 沿革	1
III 役員等名簿	8

第 2 組織

I 組織	10
II 事務分掌	11

第 3 令和 6 年度事業計画及び収支予算

I 事業計画	12
II 収支予算	30

第 4 令和 5 年度事業報告及び収支決算

I 事業報告	32
II 収支決算	56

〔参考資料〕

I 加盟団体一覧	69
II 名古屋市のスポーツ施設等一覧	70
III 学校開放事業一覧	74
IV 施設利用状況	78

第1 団体の概要

I 設立の目的

市民が自分の適性と健康状態にあわせて、いつでも、どこでも自分からすすんでスポーツに親しみ、そのことを通して、明るく豊かな市民生活が送れるような諸条件を整備するため、名古屋市スポーツ振興計画（レインボープラン）が昭和 57 年 10 月に策定された。

この計画に沿って、柔軟で効率的なスポーツ施設の管理運営や事業の拡充を行えるよう、行政機関や関係団体等と緊密な連絡をとりつつ、より広い市民参加と民間活力の導入を図れる団体として当財団が設立された。

II 沿革

昭和 56 年 9 月 市民スポーツの振興策についての市の諮問に対し、名古屋市市民スポーツ振興会議から、答申書「市民スポーツ振興計画策定に関する中間報告書」が提出された。この中で、「公共スポーツ施設の管理運営委託は、経済的な面や専門能力活用の面から全国的に実施されており、現在の直営方式では、多様化かつ専門化した市民需要には十分応えられないので、各施設の固有機能、規模等を勘案し、市民サービスの立場からそれぞれの施設に応じた適切な委託方式を決定すべきである。」と提言を受ける。

前記「レインボープラン」で、「施設の維持管理や事業の実施などについて、その機能と経済性を十分発揮できるよう検討し、市民の利便性と施設の利用効率を高め、施設の情報を市民に提供できるよう努める。」ことなどがうたわれている。

担当部内で、前記答申や市民要望をふまえ、財団法人設立のための予算要求と関係者への調整を開始する。

昭和 58 年 3 月 昭和 58 年度当初予算議案が可決され、スポーツ施設の管理委託のため関係条例を改正

4 月 財団設立準備事務担当者 3 名（局付部長、主幹、主査各 1 名）を発令

8 月 設立準備会を開催し、役員予定者、寄付行為、昭和 58 年度事業計画及び収支予算を決定

10 月 愛知県教育委員会から財団法人名古屋市スポーツ振興事業団の設立許可。役員（理事 15 名、監事 2 名）を委嘱し、職員（職員 30 名、管理員 87 名）を発令。理事会を開催し、組織規程等、諸規程を決定

市体育館、露橋スポーツセンター、鳴海プール、名城庭球場、勤労青年レクリエーションセンター（15 センター）・地域スポーツセンター（53 センター）の受託管理を開始

昭和 58 年 11 月 スポーツトレーニングセンターの受託管理を開始

昭和 59 年 4 月 瑞穂運動場及び瑞穂プール（練習プールを除く）の受託管理を開始

5 月 地域スポーツセンター（新たに 10 センター）の受託管理を開始

- 昭和 59 年 10 月 設立 1 周年記念行事「スポーツ講演会」を開催
「ライブリー名古屋ストレッチング」を名古屋市及び名古屋市教育委員会と共同で制作
- 昭和 60 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 9 センター）の受託管理を開始
6 月 南陽プールの受託管理を開始
7 月 志段味スポーツランドの受託管理を開始
- 昭和 61 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 10 センター）の受託管理を開始
- 昭和 62 年 4 月 枇杷島スポーツセンターの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 3 センター）の受託管理を開始。勤労青年レクリエーションセンター（8 センター）が地域スポーツセンターへ移行
7 月 総合体育館の受託管理を開始
- 昭和 63 年 4 月 武豊野外活動センターの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始。勤労青年レクリエーションセンター（7 センター）が地域スポーツセンターへ移行。これにより地域スポーツセンターへの一元化完了
- 平成 元年 6 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始
7 月 稲永スポーツセンターの受託管理を開始
11 月 富田北プールの受託管理を開始
- 平成 2 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
7 月 天白スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 3 年 5 月 地域スポーツセンター（新たに 2 センター）の受託管理を開始
10 月 事務局を瑞穂プール内より中央高校跡へ移転
- 平成 4 年 4 月 総合体育館レインボープールの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
7 月 緑スポーツセンター、北スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 5 年 4 月 山田西プールの受託管理を開始
5 月 地域スポーツセンター（新たに 1 センター）の受託管理を開始
9 月 港サッカー場の受託管理を開始
10 月 設立 10 周年記念式典を開催。同記念誌を発行。同記念イベントとして「ときめきスポーツフェスタ' 93」を開催
11 月 事務局を中央高校跡から総合体育館宿泊研修棟へ移転
- 平成 6 年 2 月 事務局を宿泊研修棟からスポーツ振興会館へ移転
設立 10 周年記念イベントとして「NSPA 招待サッカー大会」を開催
4 月 香流橋プールの受託管理を開始
スポーツ振興会館開館
7 月 中村スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 9 年 7 月 熱田プールの受託管理を開始
9 月 黒川スポーツトレーニングセンターの受託管理を開始

- 平成 9 年 10 月 名東スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 10 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（名称、目的及び事業）の変更を議決
- 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
- 4 月 新たに教育の振興に資する事業を行うことを目的に加え、名称を財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団へ変更
学校施設の開放事業の受託開始〔一般開放事業、スポーツ及び学習開放事業（市民教養ルーム）、名東高等学校学習開放事業、遊び場開放事業及びトワイライトスクール事業の新たな受託、地域スポーツセンターのスポーツ開放事業への移行〕
野外教育活動に係る事業の受託開始
- 6 月 上社レクリエーションルームの受託管理を開始
- 7 月 楠プール及び千種スポーツセンターの受託管理を開始
- 平成 11 年 3 月 遊び場開放事業の受託を終了
- 5 月 理事会を開催し、寄付行為（評議員及び評議員会の設置）の変更を議決
- 9 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
- 10 月 評議員及び評議員会の設置
- 平成 12 年 7 月 山田プールの受託管理を開始
- 平成 13 年 7 月 富田プール及び中スポーツセンターの受託管理を開始
- 10 月 東スポーツセンター（一部）の受託管理を開始
- 11 月 スポーツトレーニングセンター閉所に伴い受託管理を終了
- 平成 14 年 2 月 昭和スポーツセンターの受託管理を開始
- 11 月 東スポーツセンター（全館）の受託管理を開始
- 平成 15 年 3 月 経営改善計画を策定
- 7 月 名東プールの受託管理を開始
- 9 月 中長期計画を策定
- 10 月 設立 20 周年記念式典を開催。同記念誌を発行。同記念事業として〔スポーツ交流大会〕の開催、「NESPA ストレッチングビデオ」の制作などを実施
- 11 月 設立 20 周年記念事業として「トワイライトスクール交流会」を開催
- 平成 16 年 3 月 市民教養ルーム及び名東高等学校学習開放事業の受託を終了
- 4 月 総合体育館に利用料金制度導入
- 平成 17 年 3 月 楠プール、山田プール、熱田プール、富田プール及び名東プールの受託管理を終了
- 4 月 指定管理者として振甫プール、名城プール、熱田プール、富田プール及び天白プールの管理を開始
名古屋共同福祉施設の解散に伴い、総合体育館の一施設としてサンホール（サン笠寺）の受託管理を開始
学校体育センター管理運営事業の受託開始
財団法人名古屋市体育協会への職員の出向を開始

- 平成 18 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（目的及び事業、資産及び会計、役員等）の変更を議決
- 平成 18 年 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
指定管理者制度への移行に伴い、総合体育館、瑞穂運動場、市体育館、露橋スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、緑スポーツセンター、北スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、千種スポーツセンター、中スポーツセンター、東スポーツセンター、昭和スポーツセンター、志段味スポーツランド、鳴海プール、香流橋プール、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター、名城庭球場、上社レクリエーションルーム及び港サッカー場の受託管理を終了
- 平成 18 年 4 月 財団法人名古屋市学校給食協会と統合。学校給食に係る事業を行うことを目的に加え、事業を開始
指定管理者として、総合体育館、瑞穂運動場、市体育館、露橋スポーツセンター、枇杷島スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、緑スポーツセンター、北スポーツセンター、名東スポーツセンター、千種スポーツセンター、中スポーツセンター、東スポーツセンター、香流橋プール、南陽プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター、名城庭球場及び港サッカー場の管理を開始
- 平成 19 年 3 月 新経営改善計画を策定
指定管理者としての期間満了に伴い、振甫プール、名城プール、熱田プール、富田プール及び天白プールの管理が終了
学校施設の開放事業のうち、一般開放事業の受託を終了
- 平成 19 年 4 月 指定管理者として、振甫プール、楠プール、山田プール、稲葉地プール、港プール及び名東プールの管理を開始
ネーミングライツ（命名権）の導入により、総合体育館の愛称が日本ガイシスポーツプラザに変更
- 平成 20 年 3 月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、市体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理が終了
- 平成 20 年 4 月 指定管理者として、総合体育館、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理を開始
- 平成 21 年 2 月 理事会を開催し、寄付行為（目的及び事業）の変更を議決
- 平成 21 年 3 月 愛知県教育委員会から寄付行為変更認可
指定管理者としての期間満了に伴い、振甫プール、楠プール、山田プール、稲葉地プール、港プール及び名東プールの管理が終了
- 平成 21 年 4 月 指定管理者として、青少年宿泊センター、稲葉地プール、熱田プール、名東プール、楠プール及び富田プールの管理を開始
放課後子どもプランモデル事業の受託開始

- 平成21年 12月 理事会を開催し、財団法人名古屋市体育協会との合併及びこれに伴う寄付行為（目的及び事業等）の変更を議決
- 平成22年 1月 愛知県教育委員会から合併及び寄付行為変更認可
- 平成22年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、緑スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、香流橋プール、南陽プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理が終了
地域スポーツセンターの受託管理及びスポーツ情報センターの運営業務を終了
財団法人名古屋市体育協会への職員の出向を終了
- 平成22年 4月 財団法人名古屋市体育協会と合併。名称を財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ変更し、アマチュアスポーツの普及促進に係る事業を開始
指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理を開始
トワイライトスクール事業の運営主体が公募制となり、運営校数が256校となる。
地域スポーツセンターの学校調整及びモニタリング等業務を開始
- 平成23年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、稲葉地プール、熱田プール、名東プール、楠プール及び富田プールの管理が終了
- 平成23年 4月 経営戦略計画を策定
指定管理者として、熱田プール及び楠プールの管理を開始
- 平成24年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、稲永スポーツセンター、天白スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、東スポーツセンター及び港サッカー場の管理が終了
- 平成24年 4月 指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター及び港サッカー場の管理を開始
トワイライトスクール事業の新規公募により、運営校数が1校増の257校となる。
- 平成24年 6月 トワイライトスクール事業の新規公募により、運営校数が3校増の260校となる。
- 平成25年 3月 愛知県知事から公益財団法人として認定
指定管理者としての期間満了に伴い、青少年宿泊センター、熱田プール及び楠プールの管理が終了
- 平成25年 4月 公益財団法人へ移行し、名称を公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会へ変更
指定管理者として、青少年宿泊センター、港プール、中川プール、熱田プール及び楠プールの管理を開始
スポーツ情報センターの運営業務を開始
公募により、トワイライトスクールが248校、トワイライトルームが14校の運営校数となる。
- 平成25年 10月 設立30周年。記念事業として、「NESPA ストレッチング2 DVD」及び「温水プール・トレーニング室ガイド」の制作などを実施

- 平成25年 11月 設立 30 周年記念事業としてスポーティブ・ライフ月間エンディング・イベントにおいて「やろまい ストレッチ&ラジオ体操」などの各種記念事業を実施
- 平成26年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、武豊野外活動センター及び名城庭球場の管理が終了
- 平成26年 4月 第2次経営戦略計画を策定
愛知県から公益変更認定を受け、定款を一部変更
指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、青少年交流プラザ、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始
公募により、トワイライトスクールが219校、トワイライトルームが24校の運営校数となる。
地域スポーツセンター運営指導等業務の受託開始
- 平成27年 4月 ネーミングライツ（命名権）の導入により、瑞穂運動場の愛称がパロマ瑞穂スポーツパークに変更
小学校の統合による運営校数の1校減少及びトワイライトルーム事業へ4校移行したことにより、トワイライトスクール214校、トワイライトルーム28校の運営校数となる。
- 平成28年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、千種スポーツセンター、港サッカー場、港プール、中川プール、熱田プール及び楠プールの管理が終了
- 平成28年 4月 指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、港サッカー場、港プール、中川プール、富田プール、楠プール、千種生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理を開始
トワイライトルーム事業へ8校移行したことにより、トワイライトスクール206校、トワイライトルーム36校の運営校数となる。
- 平成29年 3月 第3次経営戦略計画を策定
指定管理者としての期間満了に伴い、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センターの管理が終了
地域スポーツセンター運営指導業務の受託が終了
- 平成29年 4月 指定管理者として、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センター（青少年交流プラザ分館）の管理を開始
公募によりトワイライトスクールが204校、トワイライトルーム41校の運営校数となる。
- 平成30年 3月 指定管理者としての期間満了に伴い、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、中スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、中川プール、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理が終了

平成30年	4月	指定管理者として、瑞穂運動場、枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、南陽プール、山田西プール、富田北プール、黒川スポーツトレーニングセンター、中川プール、山田プール、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始 公募によりトワイライトスクールが 206 校、トワイライトルーム 46 校の運営校数となる。
平成31年	3月	学校体育センター管理運営事業の受託終了
平成31年	4月	公募によりトワイライトスクールが 205 校、トワイライトルーム 47 校の運営校数となる。
令和 2 年	3月	第4次経営戦略計画を策定 指定管理者としての期間満了に伴い、千種生涯学習センター、北生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理が終了
令和 2 年	4月	指定管理者として、千種生涯学習センター、北生涯学習センター、西生涯学習センター、中生涯学習センター、昭和生涯学習センター及び瑞穂生涯学習センターの管理を開始 公募によりトワイライトスクールが 205 校、トワイライトルーム 47 校の運営校数となる。
令和 3 年	4月	公募によりトワイライトスクールが 204 校、トワイライトルーム 50 校の運営校数となる。
令和 3 年	6月	指定管理者として、瑞穂公園体育館の管理を開始
令和 4 年	4月	公募によりトワイライトスクールが 202 校、トワイライトルーム 50 校の運営校数となる。
令和 5 年	3月	第5次経営戦略計画を策定 指定管理者としての期間満了に伴い、総合体育館、瑞穂運動場、瑞穂公園体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、港サッカー場、南陽プール、黒川スポーツトレーニングセンター、港プール、富田プール、楠プール、青少年交流プラザ及び青少年宿泊センター（青少年交流プラザ分館）、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理が終了
令和 5 年	4月	指定管理者として、総合体育館、露橋スポーツセンター、稲永スポーツセンター、北スポーツセンター、中スポーツセンター、港サッカー場、南陽プール、黒川スポーツトレーニングセンター、港プール、富田プール、楠プール、中村生涯学習センター、熱田生涯学習センター、港生涯学習センター、南生涯学習センター及び名東生涯学習センターの管理を開始 公募によりトワイライトスクールが 201 校、トワイライトルーム 49 校の運営校数となる。
令和 6 年	3月	廃止（営業終了）に伴い、山田西プールの管理が終了
令和 6 年	4月	小学校の統合による運営校数の 1 校減少及びトワイライトルーム事業へ1校移行したことにより、トワイライトスクール 199 校、トワイライトルーム 50 校の運営校数となる。

Ⅲ 役員等名簿

令和6年7月1日現在

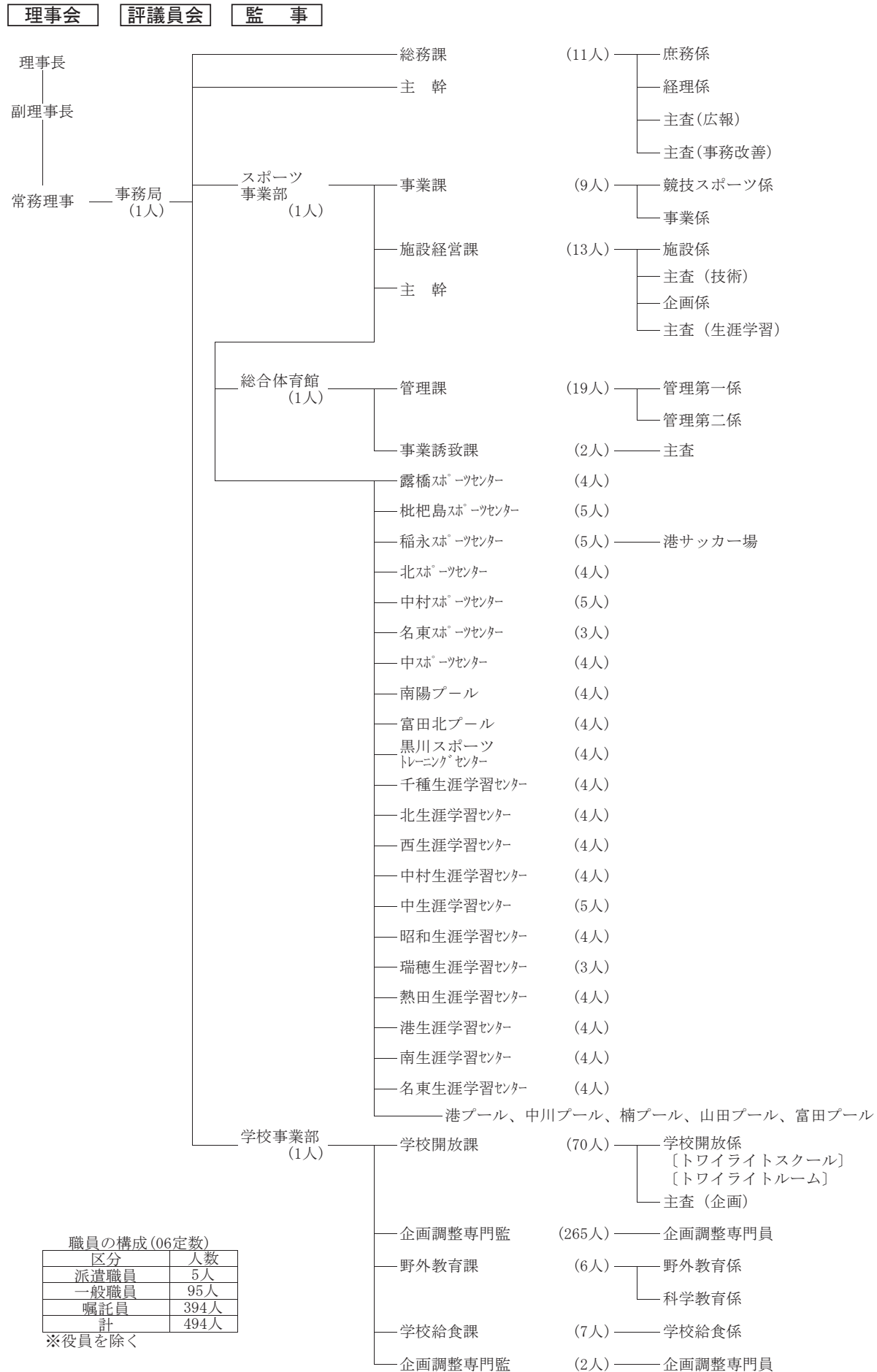
役 職 名	氏 名	役 職
理 事 長	河 野 和 彦	—
副理事長	後 藤 泰 之	名古屋市体育協会会長
常務理事	竹 内 勇 夫	公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会事務局長
理 事	渡 辺 佐知子	名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会会長
	若 松 文 彦	名古屋市バレーボール協会会長
	箕輪田 晃	名古屋市水泳連盟名誉顧問
	尾 野 博 之	名古屋市剣道連盟理事長
	大 橋 一 之	名古屋市瑞穂区体育協会会長
	中 嶋 幸 吉	名古屋市中村区体育協会会長
	中 田 俊 夫	名古屋市区政協力委員議長協議会副議長
	松 浦 和 彦	名古屋市レクリエーション協会会長
	齋 藤 利 夫	名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会会長
	高 橋 功	元名古屋市立小中学校 PTA 協議会会長
	中 路 恭 平	南山大学教授
	小 杉 裕 子	椙山女学園大学教授
	二 村 高 博	名古屋市ソフトボール協会理事長
	久 野 千嘉子	名古屋市スケート協会理事長
	坪 田 知 広	名古屋市教育委員会教育長
	鳥 羽 義 人	名古屋市スポーツ市民局長
	鈴 木 健	名古屋市立丸の内中学校長
	河 上 賢 太	名古屋市立大森中学校教諭
監 事	安 井 琢 磨	名古屋青年会議所理事長
	名 和 浩 一	—

役 職 名	氏 名	役 職
評 議 員	森 達 郎	名古屋市レクリエーションインディアカ連絡協議会会長
	塚 原 博 臣	名古屋市スキー協会会長
	山 田 桂 子	名古屋市ドッジボール協会理事
	松 永 裕 和	名古屋市相撲連盟副会長
	青 木 実	名古屋市陸上競技協会会長
	青 山 英 立	名古屋市バスケットボール協会理事長
	弓 矢 恭 代	名古屋市バトン協会副理事長
	近 藤 賢 治	天白区体育協会会長
	西 川 陽 祐	元名古屋市立小中学校 PTA 協議会副会長
	淀 川 悦 子	名古屋市スポーツ推進委員連絡協議会評議員
	小 川 智 樹	社会福祉法人名古屋市総合リハビリテーション事業団スポーツ振興部長
	早 瀬 和 利	愛知教育大学名誉教授
	菊 池 秀 夫	中京大学教授
	山 本 彩 未	中部大学講師
	大 西 謙 一	名古屋市体操協会理事長
	石 原 治	名古屋市スポーツ市民局スポーツ推進部長
	中 谷 誠	名古屋市教育委員会事務局教育支援部長
	山 村 伸 人	名古屋市立富士中学校長
	内 木 泰 志	名古屋市立桜台高等学校長
	船 越 一 裕	名古屋市立北高等学校長
	高 羽 孝 史	名古屋市立栄生小学校教諭

第2 組 織

I 組織

令和6年7月1日現在



Ⅱ 事務分掌

i 事務局

令和6年7月1日現在

〒457-0833 名古屋市南区東又兵ヱ町 5 丁目 1 番地の 16（スポーツ振興会館内）				
課 名	係 名	主な業務		TEL・FAX
総 務 課	庶 務 係	1 理事会・評議員会 2 人事・給与・福利厚生・労働災害 3 職員研修 4 文書・公印 5 定款・諸規程の制定改廃 6 資産の出納保管 7 事業計画 8 官公庁その他外部との連絡調整 9 スポーツ振興会館の管理 10 広報 11 他部、課、係、事務所の所管に属さないこと		TEL (052) 614-7501 FAX (052) 614-7525
	経 理 係	1 予算・決算 2 予算配当 3 予算執行の総合調整 4 経営に係る企画及び調整		TEL (052) 614-7502 FAX (052) 614-7525
事 業 課	競 技 スポーツ係	1 アマチュアスポーツの普及振興事業 2 スポーツ功労者の表彰 3 加盟団体及び賛助会員 4 スポーツ大会等の開催及び協力（他係の所管に属さないもの）		TEL (052) 614-7100 FAX (052) 614-7149
	事 業 係	1 スポーツ・レクリエーションの普及振興事業の企画及び実施 2 スポーツ・レクリエーション事業に伴う名古屋市及びスポーツ・レクリエーション団体との調整 3 体育施設及び生涯学習施設等の情報提供事業 4 スポーツ資料展示室の企画運営		TEL (052) 614-7504 FAX (052) 614-7149
施設経営課	施 設 係	1 体育施設及び生涯学習施設の指定管理業務（他係の所管に属さないもの） 2 スポーツ・レクリエーション情報システムの管理運営 3 スポーツ情報センター・スポーツ資料展示室の管理 4 施設の保全管理・施設との連絡調整 5 部内他課、係、事務所の所管に属さないこと		TEL (052) 614-7519 FAX (052) 614-7525
	企 画 係	1 体育施設及び生涯学習施設等の指定管理者応募に係る企画及び調整 2 生涯学習施設等の指定管理者応募に係る企画及び調整		TEL (052) 614-7532 FAX (052) 614-7525
学校開放課	学校開放係	1 トワイライトスクール事業、トワイライトルーム事業、学校施設の開放事業 2 部内他課の所管に属さないこと		TEL (052) 614-7506 FAX (052) 614-7530
野外教育課	野外教育係	1 野外教育事業 2 他係の所管に属さないこと		TEL (052) 614-5143 FAX (052) 614-7524
	科学教育係	1 科学教育事業		
〒456-0072 名古屋市熱田区川並町 2 番 22 号（中央卸売市場内）				
学校給食課	学校給食係	1 学校給食用物資の調達及び普及・奨励等		TEL (052) 671-1146 FAX (052) 671-6893

ii 施設

名古屋市のスポーツ施設等一覧（70～73 ページ参照）			
各事務所		1 施設の利用受付・許可 2 施設の利用に関する利用料金等徴収・還付 3 施設の保全管理 4 施設の利用促進・利用統計 5 事務所の所掌する文書・公印 6 事務所の所掌する経理 7 事務所の所掌する物品・資産の出納保管	

第3 令和6年度事業計画及び収支予算

I 事業計画

当協会は、昭和 58 年に「財団法人名古屋市スポーツ振興事業団」として設立以来、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ施設の運営やスポーツ教室・大会等を実施してまいりました。その後平成 10 年 4 月に、教育の振興に資するため、トワイライトスクールを始めとする学校開放事業及び野外教育事業を開始するとともに、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団」と改めました。また、平成 18 年 4 月には、財団法人名古屋市学校給食協会の統合により新たに学校給食事業を加えました。平成 22 年 4 月からは、財団法人名古屋市体育協会との合併により、アマチュアスポーツの普及促進にも携わることとなり、「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更し、名古屋市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため、さらに幅広い事業を展開しているところです。平成 25 年 4 月からは公益財団法人に移行し、「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に名称を変更しました。

令和 6 年度は、指定管理施設 28 施設（スポーツ施設 17 施設、生涯学習センター11 施設）の管理運営事業をはじめ、スポーツ振興等に関する事業、受託するトワイライトスクール・ルーム 249 校の管理運営等の学校開放事業、野外教育事業、学校給食事業に取り組みます。

また、2026 年に愛知・名古屋で開催される第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会に向け、市民の機運醸成を図る取り組みなどを進めていきます。

事業の実施においては、「第 5 次経営戦略計画」（計画期間：令和 5 年度～7 年度）に定める経営戦略方針に基づき、より一層の経営改善に取り組み、数値目標の達成に努めます。

併せて、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向け、全ての市民が健康的な生活を営むことができるよう、引き続き様々な取り組みを進めていきます。

（経営戦略方針）

- 公益財団法人としての公益性を維持しながら、安心・安全な事業運営を行い、「スポーツ」と「教育」の振興を促進する。
- 指定管理者制度の導入等による民間企業との競争の中、コスト削減や自主財源の確保・拡充による収益性の向上を図り、財務体質を強化する。
- 市民ニーズに基づき、スポーツを通じた市民の体力づくり、トワイライトスクール・ルームを通じた子育て支援、生涯を通じた学習活動の支援等を他の機関や地域と連携・協働して推進する。
- 職員の資質向上を図るとともに、地域に貢献できる事業の実施を通じて、地域人材の活用と、地域との連携を推進する。

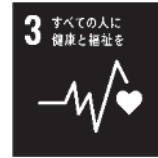
以上の方針のもと、協会のこれまで培ってきたノウハウと職員の能力を十二分に活用して、次に掲げる事業を実施します。

- I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業
 - 1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等
 - 2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり
 - 3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力
 - 4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供
 - 5 スポーツ功労者の表彰
 - 6 加盟団体相互の連携及び育成強化
 - 7 体育施設の管理運営
 - 8 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取組の推進

- II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業
 - 1 トワイライトスクール
 - 2 トワイライトルーム
 - 3 生涯学習センター
 - 4 その他の学校開放等事業
 - 5 野外教育事業
 - 6 科学教育事業

- III 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業
 - 1 学校給食用物資の調達
 - 2 給食を通じた食育の推進

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業



1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等

(1) 競技力向上事業への補助

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、適切な指導を計画的かつ継続的に実施する競技団体のジュニア競技力向上事業及び名古屋市における競技力向上を担う優秀な審判員並びに指導者の養成・資質向上を図ることを目的に競技団体が実施する審判員並びに指導者養成事業について補助を行う。

(2) 名古屋スポーツ未来育成支援事業

アジア競技大会・アジアパラ競技大会をはじめとした大規模スポーツ大会において活躍できる選手を育成するため、競技団体が行う強化試合や記録会について補助を行う。また、今後開催する大規模スポーツ大会の運営を担う審判及び指導者を育成するため、競技団体を通じて資格取得に係る費用の一部について補助を行う。

(3) ジュニアアスリートサポート事業

ジュニア選手が全国大会に出場する際の交通費等の助成をする「スポーツ大会出場費助成事業」と、ジュニア選手への検診や、選手、指導者を対象としたスポーツ障害に関する講義、栄養指導などをする「スポーツ医科学サポート事業」を行う。

(4) 愛知駅伝名古屋市チーム出場業務

愛知万博（2005年開催）メモリアルイベントとして開催される「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）」に参加する名古屋市チームの選手選考等、大会出場に必要な業務を行う。

(5) 学校部活動支援業務

中学校で行われている部活動において、所属する生徒及び監督・コーチを対象に、加盟競技団体及び名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会に加盟するトップチームに指導を要請し、技術的又は専門的な指導助言を行う。また、協会の自主開館日の「地域スポーツ活動制度」を活用し、中学校における交流戦等を開催する会場を優先的に確保・提供する支援を行う。

2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり

名古屋市が策定した「名古屋市スポーツ推進計画」に沿い、協会が管理する施設等においてスポーツ教室、スポーツ指導・スポーツ相談事業を開催し、市民の体力づくりに寄与するとともに、スポーツ少年団の各種活動の支援を行う。

(1) スポーツ教室等の開催

① 開催方針

スポーツ・レクリエーション活動への関心を一層高めるため、市民ニーズの把握に努めながら、子どもが多様なスポーツに接することのできる教室や高齢者がその健康状態や体力に応じて楽しめる教室、子育て世代・働く世代が参加しやすい教室、障害者スポーツ・ユニバーサルスポーツの教室など、名古屋市の指定した開催方針に、次に挙げる協会独自の視点を加えて企画し、親子でふれあえる事業やトッパスリートとのふれあい事業など、幅広い年齢層を対象に多彩で魅力あるスポーツ教室等を開催する。

【協会独自の視点】

- ・親子のふれあいを育む「親子スポーツ交流会」
- ・スポーツへの関心や興味を高める「アスリートふれあい事業」
- ・スポーツ施設営業拡大日や利用時間延長を活用してのスポーツ教室等の開催

② 内容

教室の種目や内容、対象等によって、年に3期の定期開催・年間にわたる定期開催型の「定期教室」と、大会・イベントや1回ごとに気軽に参加できる事業などの「随時・体験型」とに区分して開催する。

区 分		内 容		会 場
定期 教室	第1期	水泳教室始め	304 教室※	総合体育館始め 10 施設
	第2期	テニス教室始め	44 教室	枇杷島スポーツセンター始め 3 施設
	第3期	健康ヨガ教室始め	29 教室	枇杷島スポーツセンター始め 3 施設
	通 年	ジュニアバドミントン教室始め	32 教室	露橋スポーツセンター始め 6 施設
計			409 教室	総合体育館始め 10 施設
随時・体験型		エアロビクスストレスタイム始め	248 事業	総合体育館始め 10 施設

※ 令和5年度から管理を開始した施設は、定期教室が各期に分かれていないため、便宜的に第1期に計上した。

(2) スポーツ指導事業

① トレーニング・水泳指導事業

トレーニング室（8施設）において、トレーニング器具やビデオ装置などを活用し、健康・体力づくりを目的としたトレーニング指導事業を行う。初心者には安全で効果的なプログラム、継続者には体力、目的に合ったプログラム、高齢者には運動機能を維持向上させるようなプログラムなど、市民ニーズに応じた幅広いプログラムの提供を行う。

また、温水プール（8施設）において、水泳、水中エクササイズ、水中ウォーキングなどのワンポイント的な指導事業を行う。

② スポーツ指導者派遣事業

保健センター等地域の機関、団体へのストレッチング指導や、トワイライトスクール等へのスポーツ指導、各種スポーツ大会での準備運動指導などニーズに応じてスポーツ指導者を派遣し、地域のスポーツ・レクリエーション活動の支援を行う。

また、派遣するスポーツ指導者の資質向上を目指し、健康運動指導士・スポーツプログラマーの資格取得を推進する。

(3) スポーツ相談事業

スポーツ活動に伴う事故予防や効果的な健康・体力づくりなどを促進するため、下記の相談事業を実施する。

相談区分	内 容	施設・回数	相談員
スポーツ障害	スポーツ活動にともなう怪我の予防、既往症等に対する安全な運動方法について、身体のしくみなどを中心にアドバイスを行う	総合体育館 年3回	整形外科医師
健康・体力づくり	健康・体力づくりについて、面談や相談カードを通じて日常的にアドバイスを行う	総合体育館始めトレーニング室を有する施設 随時	協会職員 (スポーツ プログラマー等)

(4) スポーツ少年団の普及促進・組織強化と指導者養成事業

スポーツ少年団を対象とした交歓大会や体験教室、スポーツ少年団の指導者・リーダーを対象とした研修会の開催や入団案内などを通じて、名古屋市におけるスポーツ少年団の各種活動を支援し、スポーツ少年団の普及促進を図る。

3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力

名古屋市のスポーツ振興の中心的な担い手として、スポーツ大会、各種スポーツイベントの開催及び競技会等への後援など協力を行う。

(1) スポーツ大会等の開催

市民が気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを実施し、日頃の練習の成果を発揮する場の提供やスポーツを始めるきっかけづくりをする。

主な大会等予定一覧

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
第 105 回 レクリエーションインディアカ大会	レクリエーションインディアカを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和6年 4月	稲永スポーツセンター他	小学生以上	名古屋市 名古屋市レクリエーションインディアカ連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会
第 59 回 春の女性レクリエーションバレーボール大会	女性を対象に、レクリエーションバレーボールを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和6年 5～6月	稲永スポーツセンター他	市内在住 25 歳以上の女性	名古屋市 名古屋市女性レクリエーションバレーボール連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会 中日新聞社
スポーツ体験事業	有名選手やトップチーム等によるふれあい教室や公式戦観戦を通じスポーツ活動の活性化を目的とするスポーツイベント	令和6年 5月～ 令和7年 3月	市内スポーツ施設等	市内在住 小中学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋市小中体育連盟
第 80 回 市民卓球選手権大会	身近なスポーツである卓球を通して市民相互の友好と親睦を図る大会	令和6年 6月	稲永スポーツセンター	市内在住 在勤 15歳以上	名古屋市卓球協会
でらスポ☆アリーナ	小学生を対象に名古屋を拠点に活動するトップスポーツチームの選手・コーチから直接指導を受けることにより、スポーツを始めるきっかけとなるようにするスポーツイベント	令和6年 6月	稲永スポーツセンター	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会 名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会
第 20 回 都市間交流スポーツ大会	スポーツを通じて各都市との交流促進を図り、選手の競技力向上と生涯スポーツの普及を目的としたスポーツ大会	令和6年 6～7月	京都市内スポーツ施設	5都市対抗 (大阪・横浜・神戸・京都・名古屋)	5都市スポーツ・体育協会
第 66 回 市民スポーツ祭	市内各スポーツ施設等において実施する多彩なスポーツ大会	令和6年 8月 (一部の競技を除く)	市内スポーツ施設等	区対抗の部 始め6部門	名古屋市

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
第 59 回 秋の女性レクリエーションバレーボール大会	女性を対象に、レクリエーションバレーボールを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和6年 9～10月	稲永スポーツセンター他	市内在住 25 歳以上の女性	名古屋市 名古屋女性レクリエーション バレーボール連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会 中日新聞社
レッツエンジョイスポーツ 絵画コンテスト 2024	小学生対象のスポーツに関係した絵を題材としたコンテスト	(募集・表彰・展示) 令和6年 8 月 ～ 令和7年3月	市内スポーツ施設等	市内在住 小学生	名古屋市 名古屋市教育委員会
第 106 回 レクリエーションインディアカ大会	レクリエーションインディアカを通じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむ機会を提供し、体力の増強並びに相互の親睦と協調を図る大会	令和6年 10～11月	千種スポーツセンター他	小学生以上	名古屋市 名古屋レクリエーション インディアカ連絡協議会 名古屋市レクリエーション協会
スポーティ ブ・ライフ月 間事業	スポーツの日を中心とする秋季に行うイベント事業や各種のスポーツ普及・啓発事業	令和6年 10～11月	市内スポーツ施設等	期間中 自由参加 (一部事前 申込有)	名古屋市 市スポーツ 施設指定管 理者 名古屋トッ プ・スポー ツチーム連 絡協議会
	名古屋を拠点に活動しているトップチームの指導による「でらスポ☆スタジアム」をはじめとする各種スポーツイベント	令和6年 11月	瑞穂運動場		
スポーツ 講演会	地元ゆかりの代表選手等による講演会	令和6年 11月	スポーティブ・ライフ月間に関する事業のスポーツイベント会場	自由参加	名古屋市
なごやカップ ミニ駅伝大会 2025	職場やサークル仲間等と気軽に参加できる駅伝大会	令和7年 1月	瑞穂運動場及びその周辺	中学生以上 (5人1チーム)	名古屋市
なごやマスターズ レクリエーション バレーボール大会 2025	生涯スポーツの実践として57歳以上が参加する大会	令和7年 2月	稲永スポーツセンター	150人 (年齢57歳以上)	名古屋市

大会名	内 容	開催時期	会場等	対象等	共催等
マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2025	名古屋ウィメンズマラソンと名古屋シティマラソンを併催し、エリートランナーから市民ランナーまで目的や体力等に応じて参加できるマラソン大会	令和7年 3月	バンテリンドームナゴヤ、白川公園、瑞穂運動場及びその周辺	国内・外 ランナー 33,000人	日本陸上競技連盟 愛知県・名古屋市 中日新聞社

(2) スポーツ・レクリエーション活動への後援

加盟団体並びに名古屋市内に活動の拠点を置くスポーツ・レクリエーション団体が開催する各種大会や競技会等に対し、市民のスポーツ・レクリエーション活動の健全な発展を援助することを目的に後援する。

(3) 名古屋スポーツコミッションへの協力

地域の活性化や都市ブランドの向上を目指す「名古屋市スポーツ戦略」の策定を契機に設立された「名古屋スポーツコミッション」に正会員として参画し、大規模大会の誘致や開催支援、スポーツと文化・観光を組み合わせたスポーツツーリズムの推進等に協力する。

4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供

(1) スポーツに関する調査・研究

施設利用者の利用動機や意向等を把握し、施設の利用に関する様々なサービスの充実に向けた検討資料を得ることを目的に、「スポーツ・レクリエーション施設お客様アンケート」などを実施する。さらに、その調査結果をもとに研究・分析を行い、利用者の安全・安心・快適に配慮し、より親しまれる施設を目指す。

(2) 啓発・情報提供

① スポーツ情報誌等の編集・発行

「NESPA 情報 トライスポーツ」及び「なごやのスポーツ」を編集・発行して、施設や教室の案内及びイベントなど各種事業のお知らせのほか、加盟団体等の活動内容を紹介し、市民へのスポーツ活動の普及・啓発を行う。

② ホームページの運用

ホームページにて、各事業の取組みや募集案内等について、情報提供を行う。各施設の特長や出来事についてはブログを活用するとともに、YouTube NESPA チャンネルにおいては、施設の魅力の紹介や体験レポートなどバラエティーに富んだ動画の配信を行うなど、協会の取組みを広く発信し、集客に努める。

③ メールマガジン（電子ニュース）の配信

各事業の取組みやイベント情報、スポーツ教室等の受講者募集や各施設の休場案内等をタイムリーかつスピーディーにお知らせするため、登録者に対して、定期・不定期にメールマガジンを発行する。

④ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ホームページやメールマガジンの情報を補完するために、協会の事業等について、Instagram や Facebook、X（旧：Twitter）など SNS の特性を活かした情報提供を行う。

⑤ 各施設における広報

各種教室やイベントなど、耳よりな情報を満載した施設だより等を発行するほか、各施設ホームページやロビー等にてデジタルサイネージを活用し、事業 PR を行うなど、施設に関する情報発信に取り組み、利用者の増加を図る。

⑥ スポーツ資料展示室の運営（スポーツ振興会館 2 階）

市民のスポーツに対する興味や関心を高めるため、名古屋市と連携して、本市で行うスポーツイベントや、話題性のあるスポーツに関する資料を収集し、常設展及び企画展を行う。

⑦ スポーツ情報センターの運営（スポーツ振興会館 1 階）

スポーツ・レクリエーション情報システムの案内センターとして、施設の利用案内や問い合わせに応じるほか、スポーツ・レクリエーションに関する知識や競技力の向上に役立てるため、競技等に関する図書やスポーツ大会などの記録資料を収集し、閲覧に供する。

5 スポーツ功労者の表彰

地域スポーツの発展・選手育成に功労があったものなど、名古屋市の体育・スポーツの向上発展に寄与し、協会の運営及び事業遂行に貢献した個人及び団体を表彰する。

区 分	内 容
表彰の対象	(1) 地域スポーツ及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの (2) 選手育成及び協会の発展のために顕著な功労のあったもの
表彰の時期	令和 6 年 11 月

なお、競技会等で優秀な成績を収めた選手については、名古屋市スポーツ功労者表彰において名古屋市とともに表彰する。

6 加盟団体相互の連携及び育成強化

加盟団体が主催・主管する各種大会を後援助成するとともに、全ての加盟団体による「加盟団体協議会」を開催し、意見交換を行うことにより、名古屋市における競技スポーツ並びに地域におけるスポーツ事業の充実発展に寄与する。

7 体育施設の管理運営

(1) 管理運営の方針

市民のスポーツ・レクリエーション及び教育の振興に寄与するため、名古屋市の指定管理者として、体育施設 17 施設の管理運営を行う。施設管理にあたっては、利用

者本位の安全・安心・快適な運営に努める。

さらに、市民のスポーツ施設に対する要望、生活意識や生活様式の変化に柔軟に対応するため、施設営業日の拡大や利用時間の延長を継続し、スポーツの機会等を増大させ、より親しみやすく開かれた施設を目指す。なお、総合体育館の管理運営は、協会及び「株式会社加藤商会」の2者で実施する。

(2) 目標利用者数

施設名	指定管理期間	目標 利用者数	(内数)	
			トレーニング室	温水プール
総合体育館※ ¹	令和5年度～9年度	205,000	0	45,900
露橋スポーツセンター	令和5年度～9年度	253,000	66,000	34,800
枇杷島スポーツセンター	平成30年度～令和6年度※ ²	334,000	70,100	47,900
稲永スポーツセンター	令和5年度～9年度	255,000	74,100	—
北スポーツセンター	令和5年度～9年度	239,000	67,600	61,900
中村スポーツセンター	平成30年度～令和6年度※ ²	317,000	77,900	63,900
名東スポーツセンター※ ¹	平成30年度～令和6年度※ ²	0	0	0
中スポーツセンター	令和5年度～9年度	294,000	94,100	61,900
南陽プール	令和5年度～9年度	90,000	29,900	50,100
富田北プール	平成30年度～令和6年度※ ²	86,000	—	60,400
黒川スポーツトレーニングセンター	令和5年度～9年度	118,000	93,000	—
港サッカー場※ ¹	令和5年度～9年度	3,400	—	—
港プール	令和5年度～9年度	12,900	—	—
中川プール	平成30年度～令和6年度※ ²	4,100	—	—
楠プール	令和5年度～9年度	4,800	—	—
山田プール	平成30年度～令和6年度※ ²	5,400	—	—
富田プール	令和5年度～9年度	5,200	—	—
計		2,226,800	572,700	426,800

注：新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による回復傾向を鑑み、前年度からの上昇率や施設の工事休場見込みなどを踏まえ設定

※¹ 令和6年度に長期休場する施設（総合体育館 レインボーホール等、名東スポーツセンター、港サッカー場）

※² 指定管理期間が2年間延長された施設（枇杷島スポーツセンター、中村スポーツセンター、名東スポーツセンター、富田北プール、中川プール、山田プール）

8 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取組の推進

2026年に愛知・名古屋で開催される、「第20回アジア競技大会」・「第5回アジアパラ競技大会」に向けて、子どもたちを中心に競技力の向上を図るとともに、市民の機運醸成を図るため、様々な取組みを推進する。

(1) なごやアスリート応援基金によるアスリートの支援

アジア競技大会・アジアパラ競技大会での活躍を目指す名古屋のジュニアアスリートやパラアスリートを支援するため、「なごやアスリート応援基金」を設立し、広く市民等から寄付金を募り、アスリートの育成にかかる経費を助成する。

(2) アジア競技大会・アジアパラ競技大会の競技種目の体験会等の実施

協会主催のイベントや協会管理施設において、アジア競技大会・アジアパラ競技大会に関係する種目の紹介や体験会などを実施するとともに、協会管理施設やスポーツ資料展示室において独自の展示イベントを開催し、普及啓発及び機運醸成を図る。

Ⅱ 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業



1 トワイライトスクール

小学校において、地域で子どもを育てる環境を充実するため、放課後や週末などに子どもたちに遊びや学び、体験活動をさせる放課後学級を行う。令和6年度は前年度の実施校から1校がトワイライトルーム実施校に移行し、もう1校が、小学校の統廃合により廃止されることにより、199校について運営を行う。

実施校	趣 旨	内 容 等
199校※	放課後などに学校施設を活用して、子どもたちの遊びや学びを通じた異学年交流や、地域の人や高齢者等のボランティアの協力による体験活動を通じて、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育む。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ・放課後学級ルーム ・体育館及び運動場等

※ 受託期間 令和6年度まで：46校、令和7年度まで：51校、令和8年度まで：48校、令和9年度まで：54校

(1) 活動方針

① トワイライトスクールとしての機能拡充

事業内容の充実・活性化を図る。とりわけ、地域の人的・物的資源を生かした特色ある活動や、学生ボランティアをより活用するなどして、子どもたちが学習に興味・関心をもつことができるような「学びの活動」などを実施する。

② 世代間交流事業の展開と体験活動の充実

土曜日を中心とした地域住民との交流や親子参加型の体験活動、地域行事との連携など世代間交流事業の展開を図る。

また、子どもたちの一層の参加を促し、豊富な体験ができるよう、運営指導者や地域協力員の資質向上のための研修を行うとともに、学生ボランティアなどの若い世代の協力による体験活動や、名古屋市科学館、鶴舞中央図書館、エコパルなごやなどの協力による特別な体験活動を実施することにより、体験活動の充実を図る。

③ 学校との連携強化

参加児童の安全確保をはじめ体育館・運動場など様々な学校施設の一層の活用を図るため、学校との相互理解をすすめ、連携強化に努める。

2 トワイライトルーム

トワイライトスクールが行っている「自主性、社会性、創造性を育む教育的な役割」と、「留守家庭等の子どもが安心やくつろぎを感じて過ごすことができるようにする子育て支援等としての役割」の双方を併せ持つ事業を小学校施設内において一体的に実施する。令和6年度は前年度のトワイライトスクール実施校から1校がトワイライトルームに移管されるため、50校について運営を行う。

実施校	趣 旨	内 容 等
50校※	すべての子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供するとともに昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子ども（選択事業登録）については、あわせてより生活に配慮した取り組みを行う。 また、急な事情により一時的に利用できる制度を実施する。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ・ライフルーム（生活面を重視した部屋） ・プレイルーム（活動を重視した部屋） ・体育館及び運動場等

※ 受託期間 令和6年度まで：14校、令和7年度まで：12校、令和8年度まで：10校、令和9年度まで：14校

3 生涯学習センター

(1) 施設の管理運営

名古屋市の指定管理者として、生涯学習センター11施設（千種・北・西・中村・中・昭和・瑞穂・熱田・港・南・名東）を管理運営する。

(2) 管理運営方針

安全・安心・快適な学習環境の整備と公正・平等な管理運営を行う。さらに、地域の特色や市民ニーズの把握に努め、生涯を通じた学習活動を支援する。

また、自主学習グループ等との連携により、趣味・教養、食・運動など市民ニーズが高い講座を実施する。

(3) 目標利用者数

施 設 名	指定管理期間	目標利用者数
千種生涯学習センター	令和2年度～6年度	82,300
北生涯学習センター	令和2年度～6年度	106,800
西生涯学習センター	令和2年度～6年度	58,100
中村生涯学習センター	令和5年度～9年度	73,400
中生涯学習センター	令和2年度～6年度	71,000
昭和生涯学習センター	令和2年度～6年度	67,500

施 設 名	指定管理期間	目標利用者数
瑞穂生涯学習センター	令和2年度～6年度	68,600
熱田生涯学習センター	令和5年度～9年度	62,200
港生涯学習センター	令和5年度～9年度	48,400
南生涯学習センター	令和5年度～9年度	57,800
名東生涯学習センター	令和5年度～9年度	61,700
計		757,800

注:新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行による回復傾向を鑑み、前年度からの上昇率や施設の工事休場見込みなどを踏まえ設定

4 その他の学校開放等事業

生涯学習開放

市民一人ひとりの生涯学習、生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として学校施設を活用するため、小学校27校で体育館、運動場、特別活動室、音楽室、図書室、プール等を開放する事業を実施する。

5 野外教育事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターにおいて行われる名古屋市立小・中・特別支援学校の児童・生徒の野外教育活動が円滑に運営されるよう、次の事業を行う。

(1) 参加者のバス輸送及び給食供給事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターの年間利用計画に基づき、各小・中・特別支援学校の行う野外教育活動が円滑に運営されるよう、安全かつ効率的なバス輸送及び安定した給食供給を行う。

区 分	校 数	参加予定人数	対 象	場 所
小 学 校	260	19,741	5年生	名古屋市中津川 野外教育センター
特別支援学校	4	180	小学部5年生 中学部2年生	
中 学 校	110	17,799	2年生	名古屋市稲武 野外教育センター
計	374	37,720		

※ 実施時期 令和6年4月22日(月)～11月8日(金)

※ 参加予定人数には、引率者・保護者等を含む。

(2) キャンプカウンセラー派遣事業

児童・生徒が野外教育センターを利用して行う野外教育活動を安全かつ円滑に進めるため、テント設営地の整備、キャンプファイヤーの補助、川遊びの補助、あるいは、ハイキングコースの予備的調査等の助言並びに技術的な指導補助業務を行うキャンプカウンセラーを派遣する。

※ 派遣期間 令和6年7月21日（日）～8月30日（金）

6 科学教育事業

自然や社会を対象とした体験活動を通して、科学についての興味や関心を高めるとともに、科学する心を身に付けさせるために、名古屋市の小・中学生を対象とした科学教室を行う。また、科学教室の中で、小・中学生とその保護者を対象にした親子教室を行う。

区 分	コース数	募集人数	時 期	活 動 場 所
野外観察	19 自然の部16 社会の部 3 (親子教室 16 を含む)	734	7・8・12 月	鳳来寺、伊吹山、 ひるがの、瑞浪、赤坂、 高座山、栗代鉦山、 ふじはし、中津川、 師崎、長浜、郡上八幡、 セントレア
プログラミング	6 (親子教室 4 を含む)	240	7 月	スポーツ振興会館
製作・実験	13 (親子教室 5 を含む)	436	7・8・12 月	小・中学校 スポーツ振興会館
計	38	1,410		

Ⅲ 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業



名古屋市内における学校給食の円滑な実施、運営及びその発展に寄与するため、名古屋市教育委員会の指導・監督のもとに以下の事業を行う。

1 学校給食用物資の調達

(1) 対象

区 分	対 象
小学校(国立学校1校含む)	261校
特別支援学校、鳴海中学校	6校

※ 上表のほか稲武野外教育センターの物資の一部を調達

※ その他中学校の牛乳代金の授受に関する事務を実施

(2) 学校給食用物資の購入

- ① 名古屋市教育委員会が作成した献立に基づき、安価で良質な物資を年間・学期・月などの契約単位で調達する。
- ② 学校給食用物資及び納入業者について、学校給食用物資委員会での審査を経て登録する。
- ③ 食の安全への配慮から、購入物資に関してアレルギー物質や食品添加物の有無を把握し、必要な情報を名古屋市教育委員会へ提供するとともに、アレルギー物質や食品添加物の使用をより少ないものを納入・製造業者とともに開発し、学校給食用物資委員会に提案する。
- ④ SDGs にもつながる人と環境にやさしい物資の調達に努めるため、有機栽培や農薬・化学肥料の使用を抑えて栽培された青果物・その加工品の使用を促進する。

(3) 学校給食用物資の学校への輸送

精肉類、冷凍食品、乾物等の学校給食用物資を各学校へ早朝輸送する。また、安全かつ適切な輸送について、輸送業者への指導を行う。

(4) 学校給食用物資の衛生管理

- ① 学校給食用物資の納入・製造業者の安全衛生状況について実地調査を行い、食品及び環境の衛生管理について指導する。また、食品の安全衛生に関する知識や意識を高めるための衛生管理指導会を年2回開催する。
- ② 学校給食用物資の安全性や品質の確保を図るため、細菌検査や、残留農薬、放射性物質等の理化学検査を実施する。

2 給食を通じた食育の推進

(1) 地産地消の推進

学校における食育の推進に寄与するため、学校給食で使用する野菜や加工品について、名古屋市内産や愛知県内産の使用を増やして地産地消を進める。

(2) 「食」に関する啓発事業の実施

① 給食新聞の発行

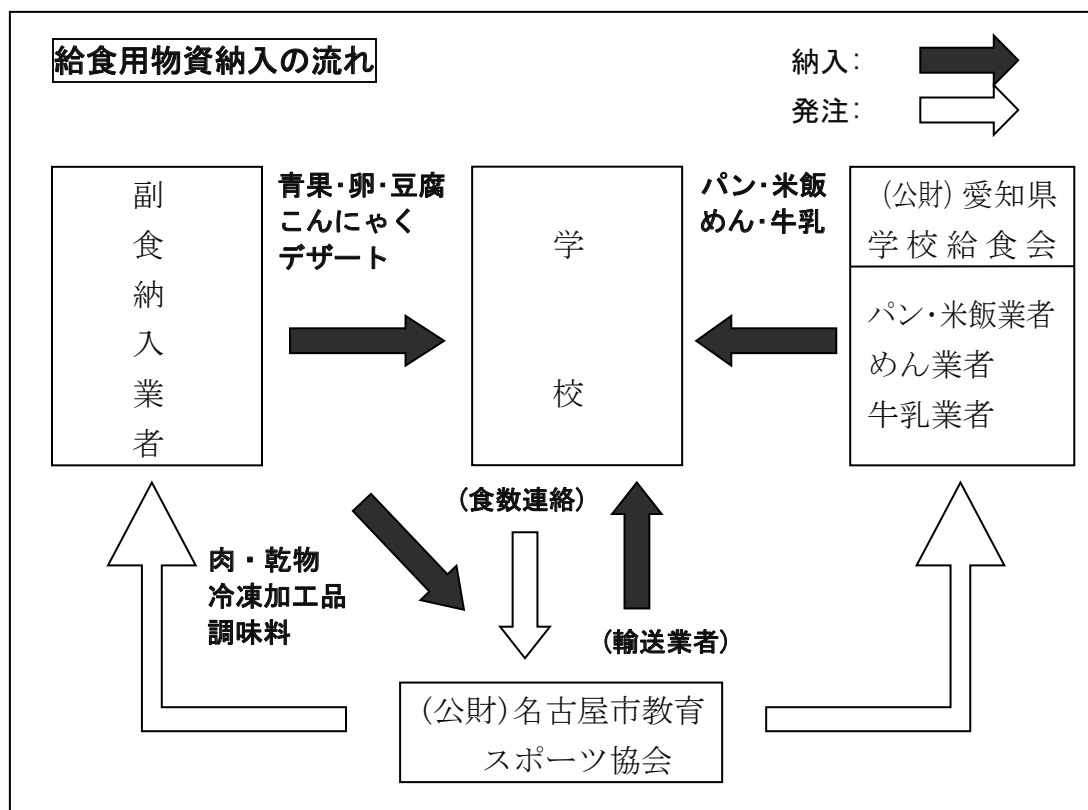
献立や食材の紹介、児童や保護者の声等を掲載する「なごやの学校給食」を年2回発行し、児童の保護者に配布するとともに、ホームページ上で公開する。

② 料理教室の開催等

小学校で「子ども料理教室」、生涯学習センターで「親子料理教室」を開催するほか、ホームページで「デジタル料理教室」を配信する。また、「給食かるた」をトワイライトスクール・ルームでの食育活動で活用するとともに学校や家庭に提供する等、児童の「食」への関心を深める事業を実施する。

さらに、各学校で実施される給食試食会に出向いて、児童の保護者に学校給食や物資調達業務に関する説明を行う。

<参考>



Ⅱ 収支予算

収支予算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	297	297	0
(2)特定資産運用益	313	313	0
(3)受取会費	5,130	5,184	△54
(4)受取受託金	2,962,265	2,823,129	139,136
(5)受取指定管理料	2,230,882	1,999,545	231,337
(6)受取利用料金	605,416	1,223,712	△618,296
(7)事業収益	7,613,289	7,203,156	410,133
(8)受取補助金等	235,068	227,317	7,751
(9)受取負担金	19,432	19,432	0
(10)受取寄附金	1,200	1,000	200
(11)雑収益	8,873	12,462	△3,589
経常収益 計	13,682,165	13,515,547	166,618
②経常費用			
(1)事業費	13,652,194	13,481,145	171,049
スポーツ・レクリエーション等事業費	2,890,176	3,335,551	△445,375
競技スポーツ事業費	69,541	71,849	△2,308
学校開放事業費	2,941,427	2,791,965	149,462
野外教育事業費	396,929	243,688	153,241
学校給食事業費	7,241,585	6,939,178	302,407
退職給付費用	39,438	33,036	6,402
賞与給付費用	73,098	65,878	7,220
(2)管理費	29,971	34,402	△4,431
事務局費	29,818	34,224	△4,406
退職給付費用	63	92	△29
賞与給付費用	90	86	4
経常費用 計	13,682,165	13,515,547	166,618
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
②経常外費用			
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	984,365	790,412	193,953
一般正味財産期末残高	984,365	790,412	193,953
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	297	297	0
一般正味財産への振替額	△297	△297	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000	120,000	0
指定正味財産期末残高	120,000	120,000	0
Ⅲ 正味財産期末残高	1,104,365	910,412	193,953

収支予算書内訳書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:千円)

科 目	公1	公2	公3	公共通	小計	収益	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
①経常収益								
(1)基本財産運用益	0	0	0	297	297	0	0	297
(2)特定資産運用益	313	0	0	0	313	0	0	313
(3)受取会費	5,130	0	0	0	5,130	0	0	5,130
(4)受取受託金	12,555	2,947,590	0	0	2,960,145	2,120	0	2,962,265
(5)受取指定管理料	1,346,219	393,203	0	0	1,739,422	491,460	0	2,230,882
(6)受取利用料金	438,970	129,809	0	0	568,779	36,637	0	605,416
(7)事業収益	91,099	365,561	7,154,633	0	7,611,293	1,996	0	7,613,289
(8)受取補助金等	111,784	38,335	84,949	0	235,068	0	0	235,068
(9)受取負担金	19,432	0	0	0	19,432	0	0	19,432
(10)受取寄附金	1,200	0	0	0	1,200	0	0	1,200
(11)雑収益	4,979	0	1,446	0	6,425	0	2,448	8,873
経常収益 計	2,031,681	3,874,498	7,241,028	297	13,147,504	532,213	2,448	13,682,165
②経常費用								
(1)事業費	2,184,882	3,891,814	7,250,520	0	13,327,216	324,978	0	13,652,194
スポーツ・レクリエーション等事業費	2,038,034	518,619			2,556,653	333,523		2,890,176
競技スポーツ事業費	69,541				69,541			69,541
学校開放事業費		2,941,427	0		2,941,427	0	0	2,941,427
野外教育事業費	0	396,929	0	0	396,929	0	0	396,929
学校給食事業費	0	0	7,241,585	0	7,241,585	0	0	7,241,585
退職給付費用	42,610	13,573	3,939	0	60,122	△20,684	0	39,438
賞与給付費用	34,697	21,266	4,996	0	60,959	12,139	0	73,098
(2)管理費	0	0	0	0	0	0	29,971	29,971
事務局費	0	0	0	0	0	0	29,818	29,818
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	63	63
賞与給付費用	0	0	0	0	0	0	90	90
経常費用 計	2,184,882	3,891,814	7,250,520	0	13,327,216	324,978	29,971	13,682,165
評価損益等調整前当期経常増減額	△153,201	△17,316	△9,492	297	△179,712	207,235	△27,523	0
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△153,201	△17,316	△9,492	297	△179,712	207,235	△27,523	0
2 経常外増減の部								
①経常外収益								
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0
②経常外費用								
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	153,201	17,316	9,492	0	180,009	△180,009	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	297	297	27,226	△27,523	0
一般正味財産期首残高	△122,806	△76,902	△53,127	7,299	△245,536	782,279	447,622	984,365
一般正味財産期末残高	△122,806	△76,902	△53,127	7,596	△245,239	809,505	420,099	984,365
II 指定正味財産増減の部								
①基本財産運用益	0	0	0	297	297	0	0	297
一般正味財産への振替額	0	0	0	△297	△297	0	0	△297
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	120,000	120,000	0	0	120,000
III 正味財産期末残高	△122,806	△76,902	△53,127	127,596	△125,239	809,505	420,099	1,104,365

(注) 公1: 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業

公2: 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業

公3: 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発達と豊かな食生活を実現する事業

収益: 管理している施設を公益目的以外の事業で貸与する事業

第4 令和5年度事業報告及び収支決算

I 事業報告

当協会は、昭和58年に「財団法人名古屋市スポーツ振興事業団」として設立以来、市民のスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ施設の運営やスポーツ教室・大会等を実施してきた。その後平成10年4月に、教育の振興に資するため、トワイライトスクールを始めとする学校開放事業及び野外教育事業を開始し、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ振興事業団」に変更した。また、平成18年4月には、財団法人名古屋市学校給食協会の統合により新たに学校給食事業を加えた。

平成22年4月からは、財団法人名古屋市体育協会との合併により、アマチュアスポーツの普及促進にも携わることとなり、名称を「財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に変更し、名古屋市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため、幅広い事業を展開することとなった。また、平成25年4月からは公益財団法人に移行し、名称を「公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会」に変更した。

令和5年度は、「第5次経営戦略計画」（令和5年3月策定。計画期間：令和5～令和7年度）の初年度となることから、計画に定める経営戦略方針に基づき、より一層の経営改善に取り組み、数値目標の達成に努めた。

併せて、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けて、名古屋市が令和3年度に創設した「名古屋市SDGs推進プラットフォーム」の会員として、全ての市民が健康的な生活を営むことができるよう、様々な取組みを進めた。

競技者の競技力強化や指導者・審判員の養成事業等については、名古屋市体育協会における事業をもとに、各競技団体が実施するジュニア競技力向上事業や審判員・指導者の養成事業に補助を行う等、引き続き積極的に取り組んだ。

また、2026年に愛知・名古屋で開催される「第20回アジア競技大会」・「第5回アジアパラ競技大会」に向けて、子どもたちを中心とした競技力の向上及び市民の機運醸成を図るため「なごやアスリート応援基金」への寄付金を募り、アスリートを支援した。

スポーツ教室及びスポーツ大会の開催等については、名古屋市スポーツ推進計画に沿い、子育て世代を対象とした教室やトップアスリートとのふれあい事業など、幅広い年齢層の方々が気軽に楽しく参加できるように、多彩な事業を展開した。

また、スポーツ活動を行う方々を支援するため、スポーツ功労者の表彰や加盟団体の活動の後援・助成を行った。

体育施設等については、名古屋市の指定管理者として管理する施設において、柔軟で効率的な運営に努め、市民・利用者にとって「安全・安心・快適」な管理を行った。

トワイライトスクール事業については、201校において実施し、円滑な運営に努めるとともに、魅力ある事業展開の一層の充実を図った。また、トワイライトルーム事業についても49校において実施した。

野外教育事業については、子どもたちの貴重な体験の場である野外教育活動の円滑な運営の支援と科学教室の充実に引き続き努めた。

また、学校給食事業について、学校給食の円滑な実施に寄与するため、物資の調達や食育の推進に係る事業を実施した。

本報告は、令和5年度に実施した事業について、次記の区分に従いその詳細を報告するものである。

記

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業

- 1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等
- 2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり
- 3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力
- 4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供
- 5 スポーツ功労者の表彰
- 6 加盟団体相互の連携及び育成強化
- 7 体育施設の管理運営
- 8 第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会に向けた取組の推進

II 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業

- 1 トワイライトスクール
- 2 トワイライトルーム
- 3 生涯学習センター
- 4 その他の学校開放等事業
- 5 野外教育事業
- 6 科学教育事業

III 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業

- 1 学校給食用物資の調達
- 2 給食を通じた食育の推進

IV 理事会・評議員会の開催

- 1 理事会の開催
- 2 評議員会の開催

V その他

- 1 令和5年度管理施設と利用者数（人）
- 2 第5次経営戦略計画（令和5年度～令和7年度）における成果指標の達成状況
- 3 加盟団体・賛助会員一覧

I 体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業



1 競技者の競技力強化、指導者・審判員の養成等

(1) 競技力向上事業への補助

名古屋市における小・中・高校生の優秀選手並びに将来有望選手に対し、適切な指導を計画的かつ継続的に実施する競技団体のジュニア競技力向上事業及び競技力向上を担う優秀な審判員並びに指導者の養成及び資質向上を図ることを目的に競技団体が実施する審判員並びに指導者養成事業について補助を行った。

事業実施競技団体	参加者数	会場等
陸上競技協会始め 36 競技団体	7,029 人	瑞穂運動場他

(2) 名古屋スポーツ未来育成支援事業

アジア競技大会・アジアパラ競技大会をはじめとした大規模スポーツ大会において活躍できる選手を育成するため、競技団体が行う強化試合や記録会について補助を行った。また、今後開催する大規模スポーツ大会の運営を担う審判及び指導者を育成するため、競技団体を通じて資格取得に係る費用の一部について補助を行った。

事業実施競技団体	参加者数	会場等
陸上競技協会始め 11 競技団体	2,072 人	瑞穂運動場他

(3) ジュニアアスリートサポート事業

ジュニア選手が全国大会に出場する際の交通費等の助成をする「スポーツ大会出場費助成事業」として 653 人に助成するとともに、名古屋市や名古屋市立大学と連携し、ジュニア選手への検診や、選手、指導者を対象としたスポーツ障害に関する講義、栄養指導などをする「スポーツ医科学サポート事業」を 3 日間行った。

(4) 愛知駅伝名古屋市チーム出場業務

愛知万博（2005年開催）メモリアルイベントとして開催される「愛知県市町村対抗駅伝競走大会（略称「愛知駅伝」）」に参加する名古屋市チームの選手選考等、大会出場に必要な業務を行い、市の部において第3位の成績を収めた。

(5) 学校部活動支援事業

市内中学校で行われている部活動において、所属する生徒及び監督・コーチを対象

に、加盟競技団体及び名古屋トップ・スポーツチーム連絡協議会に加盟するトップチームに指導を要請し、技術的又は専門的な指導助言を行った。また、協会管理施設の自主開館日の「地域スポーツ活動制度」を活用し、中学校における交流戦等を開催する会場を優先的に確保・提供する支援を行った。

区 分	件 数	学校数	参加者数
指導者派遣	7 件	7 校	142 人
交流戦会場提供	7 件	26 校	849 人

2 スポーツ教室の開催等市民の体力づくり

名古屋市の策定した「名古屋市スポーツ推進計画」に沿い、協会が管理する施設等においてスポーツ教室、スポーツ指導・スポーツ相談事業を開催し、市民の体力づくりに寄与するとともに、スポーツ少年団の各種活動の支援を行った。

(1) スポーツ教室等の開催

幅広い年齢層を対象に、スポーツ活動への関心を一層高めるため、市民ニーズの把握に努めながら多彩で魅力あるスポーツ教室等を開催した。

区 分		内 容	受講者数	会 場
定期 教室	第1期	小学生水泳教室始め 297 教室	7,064 人	総合体育館始め 12 施設
	第2期	初心者からのテニス教室 80 教室 始め	2,471 人	枇杷島スポーツセンター 始め 5 施設
	第3期	朝いちヨガ教室始め 59 教室	1,704 人	枇杷島スポーツセンター 始め 5 施設
	通 年	ジュニア卓球教室始め 33 (2)教室	986 人	総合体育館始め 7 施設
計		469 (2)教室	12,225 人	総合体育館始め 12 施設
随時・体験型		エアロビクスストレスタイム始め 311 事業	55,146 人	総合体育館始め 12 施設

※ 表内 () は「名古屋市ジュニアスポーツ教室」で内数

※ 随時・体験型の受講者数は延べ数

※ 令和 5 年度から管理を開始した施設は、定期教室が各期に分かれていないため、便宜的に第 1 期に計上した。

(2) スポーツ指導事業

① トレーニング・水泳指導事業

トレーニング室 (10 施設) 個人利用者 657,683 人のうち、延べ 30,994 人に対して新規指導やベーシック、カウンセリングコース指導など、健康・体力づくりを目的としたプログラム指導を行った。

また、温水プール (10 施設) 個人利用者 471,978 人のうち、延べ 7,414 人に対し

て泳法やウォーキング法などの水中運動に関するワンポイントアドバイスをを行った。

② スポーツ指導者派遣事業

保健所等地域の機関や団体へのストレッチング指導や、トワイライトスクール等へのスポーツ指導など、ニーズに応じてスポーツ指導者を延べ 213 名派遣し、延べ 8,038 人に指導を行った。

(3) スポーツ相談事業

スポーツ活動に伴う事故予防や効果的な健康・体力づくりなどを促進するため、下記の相談事業を実施した。

区 分	実施会場	回数	相談員	相談者数
スポーツ 医事相談	総合体育館	6 回	内科医師	14 人
スポーツ 障害相談	総合体育館	6 回	整形外科医師	15 人
健康体力 づくり相談	総合体育館始め 13 施設	随時	施設職員 (スポーツプロ グラマー等)	カード相談 29 人 窓口相談 22,252 人

(4) スポーツ少年団の普及促進・組織強化と指導者養成事業

スポーツ少年団を対象とした交歓大会を開催し、4 団 114 名が参加した。その他にもスポーツ少年団の指導者・リーダー・保護者を対象とした事業を開催するなど、名古屋市におけるスポーツ少年団の各種活動への支援を行い、スポーツ少年団の普及促進を図った。

3 スポーツ大会・講習会の開催及び協力

名古屋市のスポーツ振興の中心的な担い手として、スポーツ大会、各種スポーツイベントの開催及び競技会等への後援など協力を行った。

(1) スポーツ大会等の開催

日頃の練習の成果を発揮する場の提供やスポーツを始めるきっかけづくりとして市民が気軽に参加できるスポーツ大会やイベントを実施した。

大会名	開催日	参加者数等	会場等
第 103 回レクリエーション インディアカ大会	4月16日（日） ～30日（日）	547人	稲永スポーツセン ター他

大会名		開催日	参加者数等	会場等
第 58 回春の女性レクリエーションバレーボール大会		5月10日（水） ～6月6日（火）	2,508人	総合体育館他
第 65 回市民スポーツ祭		5月14日（日） ～2月20日（火）	20,606人	総合体育館他
第 19 回都市間交流スポーツ神戸大会		6月24日（土） ～7月16日（日）	1,234人	神戸市内各競技会場
第 79 回市民卓球選手権大会		6月18日（日）	265人	名東スポーツセンター
でらスポ☆アリーナ		6月17日（土）	204人	総合体育館
レッツエンジョイスports 絵画コンテスト 2023		8月15日（火） ～3月31日（日）	909人 909点	スポーツ資料展示室他
スポーツ体験事業		5月20日（土） ～2月3日（土）	338人	瑞穂野球場他
第 58 回秋の女性レクリエーションバレーボール大会		9月6日（水） ～10月3日（火）	2,530人	総合体育館他
スポーティブ・ライフ 月間等イベント	施設イベント	10月1日（日） ～11月30日（木）	8,548人	市内各スポーツ施設
	はじめよう！つづけよう！スポーティブ・ライフ in 瑞穂	11月23日（木・祝）	6,314人	瑞穂運動場
第 104 回レクリエーションインディアカ大会		10月22日（日） ～11月5日（日）	569人	稲永スポーツセンター他
スポーツ講演会		11月23日（木・祝）	51人	瑞穂運動場
なごやかカップミニ駅伝大会 2024		1月20日（土）	51チーム 255人	瑞穂運動場 及びその周辺
なごやマスターズレクリエーションバレーボール大会 2024		2月20日（火）	89人	総合体育館
マラソンフェスティバルナゴヤ・愛知2024		3月8日（金） ～10日（日）	ウィメンズ 15,421人 シニア 9,628人 ホイルチェア 11人 オンライン 884人	バンテリンドームナゴヤ他

(2) スポーツ・レクリエーション活動への後援

「第 55 回愛知県空手道選手権大会」を始めとしたスポーツ大会等 99 事業を後援し

た。

(3) 名古屋スポーツコミッションへの協力

地域の活性化や都市ブランドの向上を目指す「名古屋市スポーツ戦略」の策定を契機に設立された「名古屋スポーツコミッション」に正会員として参画し、大規模大会の誘致や開催支援、スポーツツーリズムの推進等に協力した。

4 スポーツに関する調査・研究及び啓発・情報提供

(1) スポーツに関する調査・研究

施設利用者の利用動機や意向等を把握し、施設の利用に関する様々なサービスの充実に向けた検討資料を得ることを目的に、「スポーツ・レクリエーション施設お客様アンケート」などを実施した。さらに、その調査結果をもとに研究・分析を行い、利用者ニーズを反映し接遇の向上に努め、より親しまれる施設運営を行った。

(2) 啓発・情報提供

① スポーツ情報誌等の編集・発行

「NESPA 情報 トライスポーツ」、「なごやのスポーツ」を編集・発行して、施設や教室の案内及びイベントなど各種事業のお知らせのほか、加盟団体等の活動内容を紹介し、市民へのスポーツ活動の普及・啓発を行った。

② ホームページの運用

ホームページにて、各種事業の取組みや募集案内等について、情報提供を行った。各施設の特性や出来事についてはブログの活用にも努め、YouTube NESPAチャンネルでは、「高橋宏斗選手・大谷翔平選手サイン展示会の開催」や「大学生による障害者スポーツ体験」、「なごやアスリート応援基金における支援アスリートの紹介」や「デジタル料理教室」等の動画公開を行った。

③ メールマガジン（電子ニュース）の配信

スポーツ教室等の受講者募集や施設の休場、イベントなどのスポーツ情報をタイムリーかつスピーディーにお知らせするため、登録者に対して、月2回、メールマガジンを配信した。

④ SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用

ホームページやメールマガジンの情報を補完するために、協会の事業等について、Facebook や X（旧：Twitter）など SNS の特性を活かした情報提供を行った。

⑤ 各施設における広報

各種教室やイベント、施設からのお知らせなどを記事にした施設だよりを発行し

たほか、区役所や図書館、文化小劇場や児童館等各公所と事業ちらし等を相互に配架し PR に努めた。また、ロビーに設置したデジタルサイネージでの事業 PR やスポーツ情報コーナーの活用など、身近な情報を様々な媒体で発信した。

⑥ スポーツ資料展示室の企画展の開催（スポーツ振興会館 2 階）

市民のスポーツに対する興味や関心を高めるため、6 月から 8 月に「もっと知りたい！パラスポーツ！展」及び「ボッチャ体験・モルック体験コーナー」を設置し、7 月から 9 月に WBC 優勝記念「中日ドラゴンズ高橋宏斗選手の紹介展示」及び「大谷翔平選手のサイン入り月山松の切り株の特別展示」を実施した。また 10 月から 11 月は名古屋市教育スポーツ協会設立 40 周年記念企画展として「スポーツで振り返る 40 年の歩み」を展示したほか、11 月から「インターハイ優勝 名古屋の高校生紹介」として 2026 アジア競技大会出場候補として期待される地元選手の紹介、12 月に「レッツエンジョイスports 絵画コンテスト入賞作品展」、2 月から 3 月に「マラソンフェスティバル ナゴヤ・愛知 2024 展」を開催した。

⑦ スポーツ情報センターの運営（スポーツ振興会館 1 階）

スポーツ・レクリエーション情報システムの案内センターとして、施設の利用案内や問い合わせに応じた。また、スポーツ・レクリエーションに関する知識や競技力の向上に役立てるため、競技等に関する図書やスポーツ大会などの記録資料を収集し、閲覧に供した。

5 スポーツ功労者の表彰

競技会等で優秀な成績を収めた選手や地域スポーツの発展・選手育成に功労があったものなど、名古屋市の体育・スポーツの向上発展に寄与し、協会の運営並びに事業遂行に貢献した個人及び団体を表彰した。

区 分	内 容	被表彰者数
表彰の対象	①名古屋市スポーツ功労賞において「スポーツ奨励賞」を受賞するもの	144 人
	②名古屋市スポーツ功労賞において「生涯スポーツ奨励賞」を受賞するもの	27 人
	③地域スポーツの発展及び選手育成のために顕著な功労のあったもの	49 人
表彰式	3 月 27 日（水）名古屋市公館（上記①及び②） 11 月 23 日（木・祝）瑞穂運動場（上記③）	

6 加盟団体相互の連携及び育成強化

「第 56 回名古屋市バスケットボール選手権大会」始め加盟団体が主催・主管する 41

大会を後援助成するとともに、全ての加盟団体による「加盟団体協議会」を開催して意見交換を行うことにより、名古屋市における競技スポーツ並びに地域におけるスポーツ事業の充実発展に寄与した。

7 体育施設の管理運営

市民のスポーツ・レクリエーション及び教育の振興に寄与するため、名古屋市の指定管理者として、総合体育館を始め体育施設 18 施設の管理運営を行った。施設管理にあたっては、利用者本位の安全・安心・快適な運営に努めた。さらに、市民の体育施設に対する要望、生活意識や生活様式の変化に柔軟に対応するため、施設営業日の拡大や利用時間の延長を継続し、スポーツ機会等を増大させ、より親しみやすく開かれた施設運営を行った。

なお、総合体育館の管理運営は、協会及び「株式会社加藤商会」の 2 者で実施した。

8 第 20 回アジア競技大会・第 5 回アジアパラ競技大会に向けた取組の推進

愛知・名古屋で開催される、「第 20 回アジア競技大会」・「第 5 回アジアパラ競技大会」に向けて、子どもたちを中心に競技力の向上を図るとともに、市民の機運醸成を図るため、様々な取組みを推進した。

(1) なごやアスリート応援基金によるアスリートの支援

アジア競技大会・アジアパラ競技大会での活躍を目指すアスリートを支援するため、「なごやアスリート応援基金」を設立し、広く市民等から寄付金を募り、6 名を支援アスリートとして決定した。

(2) アジア競技大会・アジアパラ競技大会の競技種目の体験会等の実施

協会主催のイベントや協会管理施設において、アジア競技大会に関係する種目の紹介や体験会などを実施し、普及啓発及び機運醸成を図った。

Ⅱ 学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業



1 トワイライトスクール

トワイライトスクールは、子どもたちの遊びや学び、体験、地域の人々の知識や経験を生かした世代間交流、生涯学習の振興、子育て支援、高齢者の生きがいづくりなどを図ることを目的とする。

(1) 事業内容

事業名	趣 旨	内 容 等
トワイライトスクール	放課後などに学校施設を活用して、子どもたちの遊びや学びを通じた異学年交流や、地域の人や高齢者等のボランティアの協力による体験活動を通して、子どもたちの自主性・社会性・創造性などを育む。	①対象者 1年生から6年生までの希望する児童 ②活動場所 放課後学級ルーム 体育館及び運動場等

※受託期間 令和6年度まで：46校、令和7年度まで：52校、令和8年度まで：49校、令和9年度まで：54校

(2) 実施校数

放課後学級実施校	放課後学級・生涯学習開放 並行実施校	合 計
177 校	24 校	201 校

(3) 実 績

① 活動内容

子どもたちの自主的な遊びや学習活動のほか、愛知教育大学、椋山女学園大学、東海学園大学などの学生、保護者、高齢者等の幅広いボランティアの協力により、体験活動や学びの活動など様々な活動を行った。

さらには、子どもたちの体験活動をより豊富にするために、名古屋サッカー協会、名古屋市科学館、でんきの科学館等の協力を得るとともに、「トワイライト交流」「地域ふれあいサタデー」などへの参加を通して地域との交流、学校間の交流を促進した。

また、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行した後は、体調不良者や感染症の疑いが出た場合には、換気、消毒、日常の健康管理、身体的距離を確保する等、トワイライト運営が継続できるように対処した。

② 参加状況

申込状況			参加状況		
在籍児童数	参加申込数	申込割合	日数	参加者数	1日平均
80,467人	35,375人	44.0%	57,841日	1,944,719人	33.6人

③ 学びの活動

子どもたちが学習習慣を身につける一助として、日常的に学校で学んだことの復習や読書などに取り組む学習活動を全校で実施した。

また、子どもたちの学習意欲を高める活動として、専門員や学生ボランティア等により、ゲーム感覚で楽しみながら学習に興味・関心を持つことができる活動も行った。

2 トワイライトルーム

トワイライトスクール事業を基盤に、就労等により昼間保護者が家庭にいない児童に対し、より生活に配慮した事業を一体的に実施することで、子どもたちが豊かで健やかに放課後を過ごすことができることを目的とする。

(1) 事業内容

事業名	趣 旨	内 容 等
トワイライト ルーム	子どもに「遊び」「学び」「体験」「交流」「生活」の場を提供するとともに、昼間保護者が家庭にいないことなどにより子育てへの援助を希望する家庭の子ども（選択事業登録）については、あわせてより生活に配慮した取組を行う。 また、急な事情により一時的に利用できる制度を実施する。	①対象者 1年生から6年生までの児童 ②活動場所 ライフルーム (生活面を重視した部屋) プレイルーム (活動を重視した部屋) 体育館及び運動場等

※受託期間 令和6年度まで：14校、令和7年度まで：11校、令和8年度まで：10校、令和9年度まで：14校

(2) 実施校数 49 校

区 名	名 称	区 名	名 称	区 名	名 称	区 名	名 称
千種区	富士見台	中村区	八 社	中川区	千音寺	緑 区	戸 笠
東 区	山 吹	中村区	ほのか	港 区	小 碓	緑 区	黒 石
東 区	葵	中 区	大 須	港 区	南 陽	緑 区	南 陵
東 区	砂田橋	中 区	正 木	港 区	稲 永	緑 区	小 坂
北 区	名 北	昭和区	松 栄	南 区	笠 寺	名東区	藤が丘
北 区	金 城	昭和区	広 路	南 区	菊 住	名東区	香 流
北 区	味 鉢	瑞穂区	弥 富	守山区	小 幡	名東区	梅森坂
北 区	宮 前	瑞穂区	高 田	守山区	守 山	名東区	極 楽
西 区	児 玉	熱田区	高 蔵	守山区	志段味西	天白区	平 針
西 区	平 田	熱田区	船 方	守山区	天子田	天白区	大 坪
西 区	なごや	熱田区	大 宝	守山区	小幡北		
中村区	牧 野	中川区	八 幡	緑 区	鳴海東部		
中村区	岩 塚	中川区	戸 田	緑 区	有 松		

※ 生涯学習開放並行実施校 3 校を含む

(3) 実 績

① 活動内容

トワイライトスクールで行われている遊び・学び・体験・交流に加え、各ルーム校における実情に合わせ、「生活」ということに注目し、1日の生活リズムを決め、基本的な生活習慣を身につけさせたり、子どもたちが自分からお手伝いを進んで行えるきっかけをつくったり、連絡帳を使って子どもの様子を伝えたりして、子どもたちの見守りを行った。

② 参加状況

申込状況				参加状況		
在籍児童数	参加申込数	申込割合	選択申込数	日数	参加者数	1日平均
23,514 人	10,714 人	45.6%	2,214 人	14,295 日	684,205 人	47.9 人

3 生涯学習センター

名古屋市の指定管理者として、生涯学習センター11施設（千種・北・西・中村・中・昭和・瑞穂・熱田・港・南・名東）において、安全・安心・快適な学習環境の整備と公正・平等な管理運営を行った。さらに、地域の特色や市民ニーズの把握に努めるとともに、自主学習グループと連携して、趣味・教養、食・運動など、協会独自の講座・教室等を開催した。

4 その他の学校開放等事業

生涯学習開放

市民一人ひとりの生涯学習、生涯スポーツ及び地域コミュニティ活動の場として学校施設を活用するため、小学校27校にて体育館・運動場・特別活動室等・会議室・図書室・音楽室・多目的室・プールを開放して市民の利用に供した。

施設名	体育館	運動場	特別活動 視聴覚室	研修 会議室	図書室	音楽室	多目的室	プール
開放日数	6,616	2,200	4,296	2,208	1,763	2,979	882	140
利用人員	107,701	66,649	7,988	5,019	11,532	1,802	2,315	6,426
学校数	25	23	15	8	16	12	3	7

5 野外教育事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターにおいて行われる名古屋市立小・中・特別支援学校の児童・生徒の野外教育活動が円滑に運営されるため、次の事業を実施した。

(1) 参加者のバス輸送及び給食供給事業

名古屋市中津川・稲武野外教育センターの年間利用計画に基づき、各小・中・特別支援学校の行う野外教育活動が円滑に運営されるよう、安全かつ効率的なバス輸送及び安定した給食供給を行った。

施設名	参加学年	校数	参加人数	事業実績
中津川野外教育センター	小学校5年生	261校	19,689人	バス輸送 862台 給食の供給 60,227食
	特別支援学校 小学部5年生 中学部2年生 高等部2年生	4校	392人	
	小計	265校	20,081人	
稲武野外教育センター	中学校2年生	110校	17,005人	バス輸送 675台 給食の供給 51,168食
	小計	110校	17,005人	
計		375校	37,086人	

※実施時期 令和5年4月24日（月）～11月15日（水）

※参加人数には、引率者・保護者等を含む。

(2) キャンプカウンセラー派遣事業

児童・生徒が野外教育センターを利用して行う野外教育活動を安全かつ円滑に進めるため、テント設営地の整備、キャンプファイヤーの補助、川遊びの補助、あるいは、ハイキングコースの予備的調査等の助言並びに技術的な指導補助業務を行うキャンプカウンセラーを派遣した。

区分	中津川野外教育センター	稲武野外教育センター
派遣期間	令和5年7月21日（金）～ 8月30日（水）	令和5年7月21日（金）～ 8月30日（水）
派遣人数	延べ105人	延べ111人

6 科学教育事業

自然や社会を対象とした体験活動を通して、科学についての興味や関心を高めるとともに、科学する心を身に付けさせるために、名古屋市の小・中学生を対象とした科学教室を実施した。また、科学教室の中で、小学生とその保護者を対象にした親子教室を実施した。

区 分	コース数	参加人数	時 期	場 所
自然・社会	18 自然の部 15 社会の部 3 (親子教室 16 を含む)	659 人	7 月、8 月 12 月	鳳来寺、伊吹山、 ひるがの、瑞浪、 高座山、赤坂、 栗代鉦山、師崎、 中津川、 郡上八幡、長浜、 セントレア
プログラミング	6 (親子教室 4 を含む)	229 人	8 月	スポーツ振興会館
製作・実験	13 (親子教室 5 を含む)	386 人	7 月、8 月 12 月	小・中学校、 スポーツ振興会館
計	37 (親子教室 25 を含む)	1,274 人		

Ⅲ 児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業



名古屋市内における学校給食の円滑な実施、運営及びその発展に寄与するため、名古屋市教育委員会の指導・監督のもとに以下の事業を行った。

1 学校給食用物資の調達

(1) 対象

区 分	対 象
小学校(国立学校 1 校含む)	262 校
特別支援学校、鳴海中学校	6 校
その他※	1 施設

※稲武野外教育センターは一部の物資を取扱い

※上表のほか中学校の牛乳代金の授受に関する事務

(2) 学校給食用物資の購入

- ① 名古屋市教育委員会が作成した献立に基づき安価で良質な物資を、年間・学期・月などの契約単位で調達した。
- ② 学校給食用物資及び納入業者については、学校給食用物資委員会での審査を経て、新たに 19 物資を登録した。
- ③ 地産地消を推進し、身近な食材について理解を深めるため、名古屋市内産及び愛知県内産の野菜や加工品の活用を積極的に進め、特に市内産の野菜は 6 種類を調達した。
- ④ 食の安全への配慮から、購入物資におけるアレルギー物質の有無を把握し、必要な情報を名古屋市教育委員会へ提供した。

(3) 学校給食用物資の学校への輸送

精肉類、冷凍食品、乾物等の学校給食用物資を各学校へ早朝輸送した。

また、物資の積み降ろしや、学校から預かる鍵の管理等の輸送実態を必要に応じて調査し、輸送業者の指導を行った。

(4) 学校給食用物資の衛生管理

学校給食用物資の納入・製造業者の安全衛生状況について 71 箇所の事業所を実地調査し、食品及び環境の衛生管理について指導を行った。

登録業者を対象として、衛生管理指導会を年 2 回開催し、食品の安全衛生について

の知識、意識を高めた。

また、細菌・理化学検査を物資事業者による納品前検査を含め 420 検体 1,216 項目にわたり実施し、学校給食用物資の安全性や品質の確保を図った。

2 給食を通じた食育の推進

(1) 給食新聞「なごやの学校給食」の発行

年 2 回（9 月・2 月）全保護者対象に発行した。

(2) 「食」に関する啓発事業

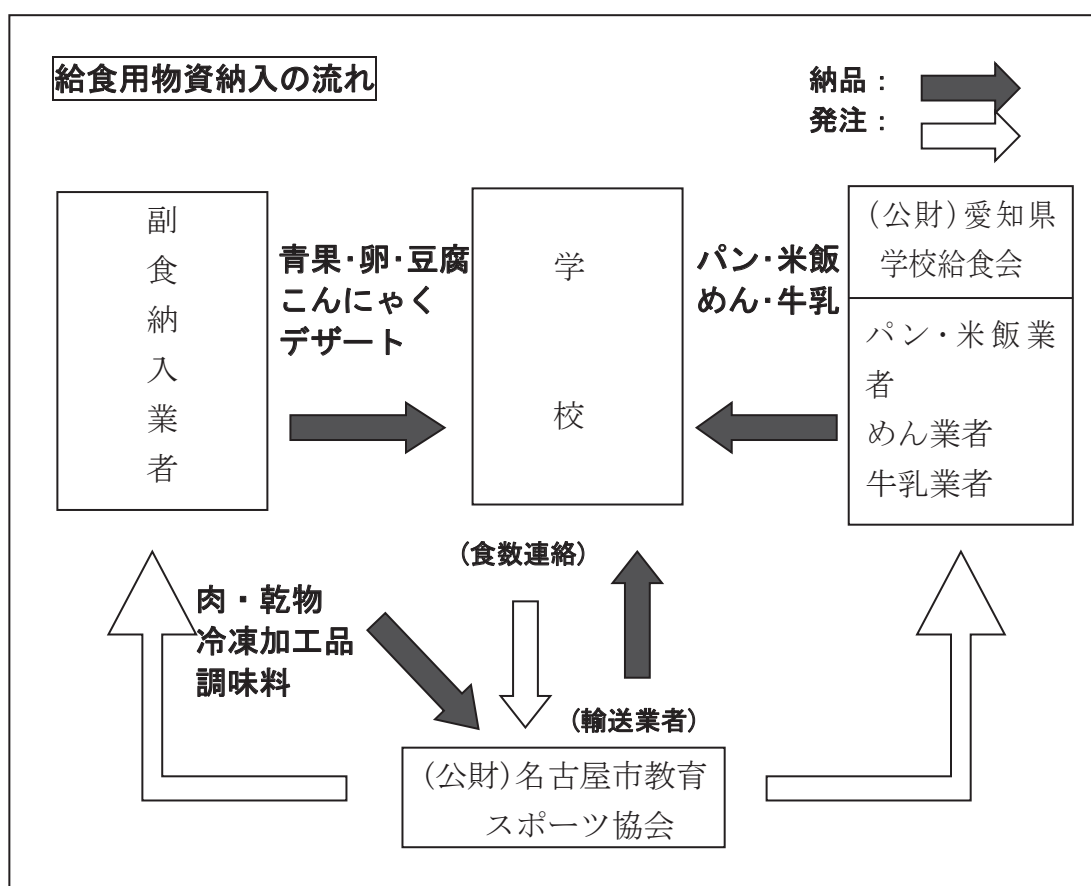
小学校で「子ども料理教室」、生涯学習センターで「親子料理教室」、トワイライトスクール等で給食クイズや給食かるた遊びを行ったほか、小学校等へ「給食かるた」の貸出を行うなど「食」への関心を深める事業を実施した。

また、ホームページで「デジタル料理教室」の配信及び「給食かるた」のダウンロードサービスを実施した。

(3) 各学校で実施される試食会への参加

各学校で実施される試食会に出向いて、児童の保護者に学校給食や物資調達業務に関する説明を行った。

<参考>



Ⅳ 理事会・評議員会の開催

1 理事会の開催

令和５年度における理事会を次のとおり開催し、各議案について、いずれも原案どおり可決承認された。

会議名	開催年月日	開催場所 出席理事・監事	議 案
第１回 理事会	令和５年 ５月１８日	(決議の省略)	１ 令和５年度第１回評議員会の開催について
第２回 理事会	令和５年 ６月１４日	スポーツ振興会館 理事 １６名 (定足数 １１名) 監事 １名	１ 令和４年度事業報告について ２ 令和４年度収支決算について ３ 定時評議員会の開催について ４ 理事長の選定について
第３回 理事会	令和６年 ３月１４日	スポーツ振興会館 理事 １６名 (定足数 １１名) 監事 １名	１ 令和６年度事業計画案について ２ 令和６年度収支予算案について ３ 評議員会の開催について

2 評議員会の開催

令和５年度における評議員会を次のとおり開催し、各議案について、いずれも原案どおり可決承認された。

会議名	開催年月日	開催場所 出席評議員	議 案
第１回 評議員会	令和５年 ５月３１日	(決議の省略)	１ 理事の選任について ２ 監事の選任について ３ 評議員の選任について
第２回 評議員会	令和５年 ６月２９日	スポーツ振興会館 評議員 １７名 (定足数 １１名)	１ 令和４年度収支決算について ２ 理事の選任について ３ 監事の選任について ４ 評議員の選任について
第３回 評議員会	令和６年 ３月２６日	スポーツ振興会館 評議員 ２０名 (定足数 １１名)	１ 役員（理事長・監事）の業績評価について

V その他

1 令和5年度管理施設と利用者数（人）

施 設 名	指定管理期間	利用者数	トレーニング室	温水プール
総合体育館	令和5年度 ～令和9年度	1,638,156 (1,631,177)	68,555 (65,071)	50,726 (47,231)
露橋スポーツセンター	令和5年度 ～令和9年度	148,367 (141,884)	35,719 (33,947)	22,571 (20,885)
枇杷島スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	315,377 (305,312)	66,633 (63,070)	47,225 (44,604)
稲永スポーツセンター	令和5年度 ～令和9年度	233,632 (225,491)	70,934 (66,913)	—
北スポーツセンター	令和5年度 ～令和9年度	226,101 (216,720)	65,530 (62,341)	60,849 (57,568)
中村スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	201,039 (191,149)	75,145 (71,538)	62,061 (58,590)
名東スポーツセンター	平成30年度 ～令和6年度	254,479 (242,495)	62,621 (59,478)	62,451 (58,998)
中スポーツセンター	令和5年度 ～令和9年度	199,340 (189,118)	95,076 (90,236)	62,281 (58,760)
南陽プール	令和5年度 ～令和9年度	88,522 (83,507)	29,344 (27,939)	49,344 (46,643)
山田西プール	平成30年度 ～令和5年度	38,604 (36,877)	—	38,604 (36,877)
富田北プール	平成30年度 ～令和6年度	79,555 (74,913)	—	58,523 (54,936)
黒川スポーツトレーニングセンター	令和5年度 ～令和9年度	111,021 (106,008)	89,562 (88,126)	—
港サッカー場	令和5年度 ～令和9年度	44,712 (44,646)	—	—
港プール	令和5年度 ～令和9年度	12,114	—	—
中川プール	平成30年度 ～令和6年度	3,848	—	—
楠プール	令和5年度 ～令和9年度	4,512	—	—
山田プール	平成30年度 ～令和6年度	5,070	—	—
富田プール	令和5年度 ～令和9年度	4,885	—	—
小計		3,609,334 (3,489,297)	659,119 (628,659)	514,635 (485,092)

施 設 名	指定管理期間	利用者数	トレーニング室	温水プール
千種生涯学習センター	令和2年度 ～令和6年度	78,871 (78,261)	—	—
北生涯学習センター	令和2年度 ～令和6年度	101,688 (101,054)	—	—
西生涯学習センター	令和2年度 ～令和6年度	75,013 (74,389)	—	—
中村生涯学習センター	令和5年度 ～令和9年度	72,035 (71,682)	—	—
中生涯学習センター	令和2年度 ～令和6年度	69,294 (68,770)	—	—
昭和生涯学習センター	令和2年度 ～令和6年度	66,278 (65,561)	—	—
瑞穂生涯学習センター	令和2年度 ～令和6年度	70,396 (69,816)	—	—
熱田生涯学習センター	令和5年度 ～令和9年度	60,499 (60,021)	—	—
港生涯学習センター	令和5年度 ～令和9年度	44,586 (44,393)		
南生涯学習センター	令和5年度 ～令和9年度	71,336 (70,851)		
名東生涯学習センター	令和5年度 ～令和9年度	55,224 (54,822)	—	—
小計		765,220 (759,620)	—	—
合計		4,374,554 (4,248,917)	659,119 (628,659)	514,635 (485,092)

※ トレーニング室及び温水プールについては、利用者数の内数

※ () 内の利用者数は、拡大した施設営業日の利用者数を含めない人数

※ 総合体育館（レインボープール及びアイスリンク・飛込プール・50m温水プール・会議室・宿泊研修棟・飛込練習室・選手控室兼軽運動室・弓道場・サンホール・トレーニング室）、露橋スポーツセンター、中村スポーツセンター（第1競技場）、中スポーツセンター（第1・2競技場）、港生涯学習センター（体育室）、名東生涯学習センター（体育室）は改修工事のため一定期間休場

2 第5次経営戦略計画（令和5年度～令和7年度）における成果指標の達成状況

成果指標(単位)		令和5年度 成果		令和5年度 目標	最終目標
1	講座・教室受講率【スポーツ】 (%)	76.4	○	76.4	78.0
2	アスリート応援基金による支援者数(累計) (名)	6	○	5	18
3	「アレルギー物質・添加物除去物資」、「地産食材を使用した物資」の開発提案(累計) (物資)	14	○	8	24
4	NESPA YouTube チャンネル動画配信件数(累計) (件)	25	○	21	66
5	正味財産期末残高(令和4年度比) (%)	113	○	100%以上	100%以上
6	新規協働事業数【スポーツ】(累計) (事業)	30	○	11	33
7	連携団体数【トワイライト】 (団体)	32	○	29	31
8	自主学习グループ協働企画新規事業数【生涯】(累計) (事業)	34	○	33	100
9	経営改善に関する職員からの提案件数(累計) (件)	32	◎	5	30

◎＝年度目標と最終目標を達成している ○＝年度目標を達成している (令和6年3月末日現在)

3 加盟団体・賛助会員一覧

加盟団体数	
令和5年度	令和4年度
56団体	55団体

【内訳】

加盟競技団体			
令和5年度		令和4年度	
40団体		39団体	
1	陸上競技	1	陸上競技
2	水泳	2	水泳
3	ソフトテニス	3	ソフトテニス
4	卓球	4	卓球
5	バレーボール	5	バレーボール
6	バスケットボール	6	バスケットボール
7	軟式野球	7	軟式野球
8	サッカー	8	サッカー
9	柔道	9	柔道
10	剣道	10	剣道
11	バドミントン	11	バドミントン
12	弓道	12	弓道
13	相撲	13	相撲
14	庭球	14	庭球
15	ソフトボール	15	ソフトボール
16	ハンドボール	16	ハンドボール
17	スキー	17	スキー
18	スケート	18	スケート
19	ホッケー	19	ホッケー
20	ボート	20	ボート
21	ラグビーフットボール	21	ラグビーフットボール
22	自転車競技	22	自転車競技
23	体操	23	体操
24	フェンシング	24	フェンシング
25	レスリング	25	レスリング
26	ウェイトリフティング	26	ウェイトリフティング
27	アマチュアボクシング	27	アマチュアボクシング
28	ヨット	28	ヨット
29	山岳	29	山岳
30	アーチェリー	30	アーチェリー
31	ボウリング	31	ボウリング
32	空手道	32	空手道
33	少林寺拳法	33	少林寺拳法
34	日本拳法	34	日本拳法
35	アイスホッケー	35	アイスホッケー
36	ドッジボール	36	ドッジボール
37	バトン	37	バトン
38	バウンドテニス	38	バウンドテニス
39	綱引	39	綱引
40	ライフフィットネス		

[illegible]

賛助会員数推移			
	令和5年度	令和4年度	増減
法 人	52	51	1
競技団体	27	28	▲ 1
地域団体	3	3	0
個 人	3	4	▲ 1
合 計	85	86	▲ 1

敬称略

法 人			
1	学校法人 愛知学院	31	学校法人 東海学園
2	(株) 愛知銀行	32	東海クリエイト (株)
3	愛知県ボウリング場協会名古屋支部	33	東海廣告 (株)
4	愛知ダイハツ (株)	34	東洋グリーン (株)
5	愛知日野自動車 (株)	35	東レ (株) 愛知工場
6	(株) アダチャー	36	ドリームアライアンス (株)
7	(株) 伊藤建築設計事務所	37	名古屋掖済会病院
8	岩間造園 (株)	38	(株) 名古屋銀行
9	(株) 江口巖商店	39	名古屋姉妹友好都市協会
10	(株) A Tグループ	40	公益社団法人 名古屋青年会議所
11	OMC (株)	41	学校法人 名古屋電気学園
12	鹿島建設 (株) 中部支店	42	ニシウラ建設 (株)
13	加藤徽章店	43	(株) 坂角総本舗
14	(株) 加藤商会	44	パイロットインキ (株)
15	医療法人 香流会 絃仁病院	45	パナソニック (株) エレクトリックワークス社 中部電材営業部
16	(株) キスラ	46	パナソニック コネクト (株) 現場ソリューションカンパニー 中日本社
17	近藤産興 (株)	47	パナソニックLSエンジニアリング (株) 中部支店
18	(株)三光	48	東山遊園 (株)
19	サンメッセ (株) 名古屋支店	49	(株) 星が丘自動車学校
20	(株) シーールズ	50	丸丹スポーツ用品 (株)
21	清水建設 (株) 名古屋支店	51	幹配電 (株)
22	(株) J P N	52	(株) 名立
23	椋山女学園大学		
24	スポーツプラザ トキワ		
25	(株) 住ゴム産業 中部支店		
26	(株) 設幸工務店		
27	(株) 竹中工務店 名古屋支店		
28	中京大学		
29	(株) テツコーポレーション		
30	ディグワールド名古屋		

競技団体			
1	名古屋市陸上競技協会	21	名古屋市バウンドテニス協会
2	(一社) 愛知水泳連盟 (2件)	22	名古屋市綱引連盟
3	(一社) 名古屋市水泳連盟 (3件)		
4	名古屋市ソフトテニス連盟 (2件)		
5	名古屋市卓球協会		
6	名古屋市バレーボール協会		
7	名古屋市剣道連盟		
8	名古屋市バドミントン協会 (2件)		
9	名古屋弓道協会		
10	名古屋市庭球協会		
11	名古屋市ソフトボール協会		
12	名古屋市スケート協会		
13	名古屋市ホッケー協会		
14	名古屋市ラグビーフットボール協会		
15	名古屋ウエイトリフティング協会		
16	名古屋市アーチェリー協会		
17	名古屋市少林寺拳法協会		
18	日本拳法全国連盟中部日本本部		
19	名古屋市ドッジボール協会		
20	名古屋市バトン協会		(22団体 27件)
地域団体		個人	
1	名古屋市熱田区体育協会		(3名)
2	名古屋市守山区体育協会		
3	名古屋市名東区体育協会		

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。

Ⅱ 収支決算

収支計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	295,500	297,000	△ 1,500
(2)特定資産運用益	303,000	313,000	△ 10,000
(3)受取会費	5,200,000	5,184,000	16,000
(4)受取受託金	2,895,049,604	2,823,129,000	71,920,604
(5)受取指定管理料	1,884,313,609	1,999,545,000	△ 115,231,391
(6)受取利用料金	1,333,761,607	1,223,712,000	110,049,607
(7)事業収益	6,522,799,875	7,203,156,000	△ 680,356,125
(8)受取補助金等	1,142,127,452	227,317,000	914,810,452
(9)受取負担金	20,053,229	19,432,000	621,229
(10)受取寄附金	396,000	1,000,000	△ 604,000
(11)雑収益	13,596,915	12,462,000	1,134,915
経常収益計	13,817,896,791	13,515,547,000	302,349,791
②経常費用			
(1)事業費	13,669,564,627	13,481,145,000	188,419,627
役員報酬	6,474,536	6,567,000	△ 92,464
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,192,764,624	3,335,539,000	△ 142,774,376
競技スポーツ事業費	74,861,750	71,849,000	3,012,750
学校開放事業費	2,894,243,527	2,785,410,000	108,833,527
野外教育事業費	238,332,619	243,688,000	△ 5,355,381
学校給食事業費	7,163,435,194	6,939,178,000	224,257,194
退職給付費用	34,224,000	33,036,000	1,188,000
賞与給付費用	65,228,377	65,878,000	△ 649,623
(2)管理費	26,820,589	34,402,000	△ 7,581,411
役員報酬	3,842,882	4,050,000	△ 207,118
事務局費	22,841,283	30,174,000	△ 7,332,717
退職給付費用	48,000	92,000	△ 44,000
賞与給付費用	88,424	86,000	2,424
経常費用計	13,696,385,216	13,515,547,000	180,838,216
評価損益等調整前 当期経常増減額	121,511,575	0	121,511,575
特定資産評価損益等	△ 838,400	0	△ 838,400
投資有価証券評価損益等	△ 1,490,000	0	△ 1,490,000
評価損益等計	△ 2,328,400	0	△ 2,328,400
当期経常増減額	119,183,175	0	119,183,175

(単位:円)

科 目	決算額	予算額	差 異
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
②経常外費用			
(1)固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	119,183,175	0	119,183,175
一般正味財産期首残高	800,009,211	790,412,000	9,597,211
一般正味財産期末残高	919,192,386	790,412,000	128,780,386
II 指定正味財産増減の部			
①基本財産運用益	295,500	297,000	△ 1,500
一般正味財産への振替額	△ 295,500	△ 297,000	1,500
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000,000	120,000,000	0
指定正味財産期末残高	120,000,000	120,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,039,192,386	910,412,000	128,780,386

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金(現金)	8,697,937	6,917,820	1,780,117
現金預金(普通預金)	1,634,529,508	1,156,363,441	478,166,067
未 収 金	551,049,365	745,367,711	△ 194,318,346
前 払 金	10,523,056	11,872,960	△ 1,349,904
棚卸資産(商品)	1,958,658	1,734,749	223,909
流動資産合計	2,206,758,524	1,922,256,681	284,501,843
2 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	119,758,800	119,758,800	0
基本財産引当預金	241,200	241,200	0
基本財産合計	120,000,000	120,000,000	0
(2)特定資産			
退職給付引当預金	317,366,644	379,082,435	△ 61,715,791
退職給付引当有価証券	186,408,600	187,247,000	△ 838,400
退職給付積立預金	72,038,220	72,038,220	0
なごやアスリート応援基金	1,051,924	1,165,111	△ 113,187
特定資産合計	576,865,388	639,532,766	△ 62,667,378
(3)その他固定資産			
諸準備積立預金	31,860,964	31,860,964	0
諸準備積立有価証券	364,567,000	366,057,000	△ 1,490,000
建 物	2,591,864	2,826,063	△ 234,199
建物附属設備	413,494	387,865	25,629
什器備品	2,205,143	409,522	1,795,621
ソフトウェア	4,484,700	449,064	4,035,636
電話加入権	137,268	137,268	0
リース資産	54,102,361	2,651,971	51,450,390
その他固定資産合計	460,362,794	404,779,717	55,583,077
固定資産合計	1,157,228,182	1,164,312,483	△ 7,084,301
資 産 合 計	3,363,986,706	3,086,569,164	277,417,542
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	1,515,596,084	1,309,675,854	205,920,230
未払金(受託金収入等精算金)	72,333,142	61,006,307	11,326,835
前 受 金	38,983,300	94,595,514	△ 55,612,214
預 り 金	61,481,782	49,097,589	12,384,193
賞与引当金	65,316,801	69,595,435	△ 4,278,634
リース債務	12,441,097	764,227	11,676,870
流動負債合計	1,766,152,206	1,584,734,926	181,417,280
2 固定負債			
退職給付引当金	508,817,844	570,533,635	△ 61,715,791
リース債務	40,209,902	1,894,377	38,315,525
資産除去債務	9,614,368	9,397,015	217,353
固定負債合計	558,642,114	581,825,027	△ 23,182,913
負 債 合 計	2,324,794,320	2,166,559,953	158,234,367
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	120,000,000	120,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(120,000,000)	(120,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	919,192,386	800,009,211	119,183,175
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(73,090,144)	(73,203,331)	△ 113,187
正味財産合計	1,039,192,386	920,009,211	119,183,175
負債及び正味財産合計	3,363,986,706	3,086,569,164	277,417,542

貸借対照表内訳表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金(現金)	8,220,215	0	477,722	0	8,697,937
現金預金(普通預金)	676,651,575	913,397,745	44,480,188	0	1,634,529,508
未 収 金	540,007,027	9,047,038	1,995,300	0	551,049,365
前 払 金	10,523,056	0	0	0	10,523,056
棚卸資産(商品)	1,612,560	346,098	0	0	1,958,658
流動資産合計	1,237,014,433	922,790,881	46,953,210	0	2,206,758,524
2 固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	119,758,800	0	0	0	119,758,800
基本財産引当預金	241,200	0	0	0	241,200
基本財産合計	120,000,000	0	0	0	120,000,000
(2)特定資産					
退職給付引当預金	266,695,830	38,126,559	12,544,255	0	317,366,644
退職給付引当有価証券	142,740,915	33,287,259	10,380,426	0	186,408,600
退職給付積立預金	59,662,060	8,816,671	3,559,489	0	72,038,220
なごやアスリート応援基金	1,051,924	0	0	0	1,051,924
特定資産合計	470,150,729	80,230,489	26,484,170	0	576,865,388
(3)その他固定資産					
諸準備積立預金	0	0	31,860,964	0	31,860,964
諸準備積立有価証券	0	0	364,567,000	0	364,567,000
建 物	2,591,864	0	0	0	2,591,864
建物附属設備	413,494	0	0	0	413,494
什器備品	240,441	0	1,964,702	0	2,205,143
ソフトウェア	0	0	4,484,700	0	4,484,700
電話加入権	137,268	0	0	0	137,268
リース資産	52,226,576	0	1,875,785	0	54,102,361
その他固定資産合計	55,609,643	0	404,753,151	0	460,362,794
固定資産合計	645,760,372	80,230,489	431,237,321	0	1,157,228,182
資 産 合 計	1,882,774,805	1,003,021,370	478,190,531	0	3,363,986,706
II 負債の部					
1 流動負債					
未 払 金	1,342,075,442	171,196,261	2,324,381	0	1,515,596,084
未払金(受託金収入等精算金)	72,333,142	0	0	0	72,333,142
前 受 金	37,438,931	1,544,369	0	0	38,983,300
預 り 金	48,180,113	8,876,820	4,424,849	0	61,481,782
賞与引当金	56,139,143	9,089,234	88,424	0	65,316,801
リース債務	11,665,092	0	776,005	0	12,441,097
流動負債合計	1,567,831,863	190,706,684	7,613,659	0	1,766,152,206
2 固定負債					
退職給付引当金	410,794,039	74,418,623	23,605,182	0	508,817,844
リース債務	39,091,530	0	1,118,372	0	40,209,902
資産除去債務	9,614,368	0	0	0	9,614,368
固定負債合計	459,499,937	74,418,623	24,723,554	0	558,642,114
負 債 合 計	2,027,331,800	265,125,307	32,337,213	0	2,324,794,320
III 正味財産の部					
1 指定正味財産	120,000,000	0	0	0	120,000,000
(うち基本財産への充当額)	(120,000,000)	(0)	(0)	(0)	(120,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	△ 264,556,995	737,896,063	445,853,318	0	919,192,386
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(60,713,984)	(8,816,671)	(3,559,489)	(0)	(73,090,144)
正味財産合計額	△ 144,556,995	737,896,063	445,853,318	0	1,039,192,386
負債及び正味財産合計	1,882,774,805	1,003,021,370	478,190,531	0	3,363,986,706

正味財産増減計算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
①経常収益			
(1)基本財産運用益	295,500	295,502	△ 2
基本財産受取利息	295,500	295,502	△ 2
(2)特定資産運用益	303,000	303,000	0
特定資産受取利息	303,000	303,000	0
(3)受取会費	5,200,000	5,203,890	△ 3,890
受取競技スポーツ会費	5,200,000	5,203,890	△ 3,890
(4)受取受託金	2,895,049,604	2,905,092,796	△ 10,043,192
受取スポーツ受託金	14,270,300	14,553,950	△ 283,650
受取競技スポーツ受託金	407,000	409,000	△ 2,000
受取学校開放受託金	2,880,372,304	2,890,129,846	△ 9,757,542
(5)受取指定管理料	1,884,313,609	2,074,308,378	△ 189,994,769
受取スポーツ施設指定管理料	1,478,608,073	1,514,177,721	△ 35,569,648
受取青少年交流プラザ指定管理料	0	145,325,215	△ 145,325,215
受取生涯学習センター指定管理料	405,705,536	414,805,442	△ 9,099,906
(6)受取利用料金	1,333,761,607	1,428,454,863	△ 94,693,256
受取スポーツ施設利用料金	1,208,408,632	1,309,236,588	△ 100,827,956
受取生涯学習センター利用料金	125,352,975	119,218,275	6,134,700
(7)事業収益	6,522,799,875	6,555,957,313	△ 33,157,438
スポーツ等事業収益	154,715,543	161,176,734	△ 6,461,191
野外教育事業収益	202,543,589	196,143,036	6,400,553
学校給食事業収益	6,165,540,743	6,198,637,543	△ 33,096,800
(8)受取補助金等	1,142,127,452	737,808,685	404,318,767
受取スポーツ補助金	67,091,000	61,316,203	5,774,797
受取競技スポーツ補助金等	43,916,100	43,141,097	775,003
受取野外教育補助金	37,083,210	36,490,590	592,620
受取学校給食補助金	994,037,142	596,860,795	397,176,347
(9)受取負担金	20,053,229	14,756,178	5,297,051
受取競技スポーツ負担金	20,053,229	14,756,178	5,297,051
(10)受取寄附金	396,000	924,111	△ 528,111
受取寄附金	396,000	924,111	△ 528,111
(11)雑収益	13,596,915	18,367,718	△ 4,770,803
受取利息	1,185,496	1,185,496	0
雑収益	12,411,419	17,182,222	△ 4,770,803
経常収益 計	13,817,896,791	13,741,472,434	76,424,357

科 目	当年度	前年度	増 減
②経常費用			
(1)事業費	13,669,564,627	13,753,858,498	△ 84,293,871
役員報酬	6,474,536	6,474,536	0
スポーツ・レクリエーション等事業費	3,192,764,624	3,649,222,026	△ 456,457,402
競技スポーツ事業費	74,861,750	63,195,130	11,666,620
学校開放事業費	2,894,243,527	2,915,653,455	△ 21,409,928
野外教育事業費	238,332,619	231,513,198	6,819,421
学校給食事業費	7,163,435,194	6,800,054,319	363,380,875
退職給付費用	34,224,000	18,236,000	15,988,000
賞与給付費用	65,228,377	69,509,834	△ 4,281,457
(2)管理費	26,820,589	30,127,127	△ 3,306,538
役員報酬	3,842,882	3,918,138	△ 75,256
事務局費	22,841,283	26,093,388	△ 3,252,105
退職給付費用	48,000	30,000	18,000
賞与給付費用	88,424	85,601	2,823
経常費用 計	13,696,385,216	13,783,985,625	△ 87,600,409
評価損益等調整前当期経常増減額	121,511,575	△ 42,513,191	164,024,766
特定資産評価損益等	△ 838,400	△ 1,817,000	978,600
投資有価証券評価損益等	△ 1,490,000	△ 2,818,000	1,328,000
評価損益等計	△ 2,328,400	△ 4,635,000	2,306,600
当期経常増減額	119,183,175	△ 47,148,191	166,331,366
2 経常外増減の部			
①経常外収益			
経常外収益 計	0	0	0
②経常外費用			
(1)固定資産除却損	0	0	0
経常外費用 計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	119,183,175	△ 47,148,191	166,331,366
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	119,183,175	△ 47,148,191	166,331,366
一般正味財産期首残高	800,009,211	847,157,402	△ 47,148,191
一般正味財産期末残高	919,192,386	800,009,211	119,183,175
II 指定正味財産増減の部			
(1)基本財産運用益	295,500	295,502	△ 2
一般正味財産への振替額	△ 295,500	△ 295,502	2
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	120,000,000	120,000,000	0
指定正味財産期末残高	120,000,000	120,000,000	0
III 正味財産期末残高	1,039,192,386	920,009,211	119,183,175

正味財産増減計算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					収益事業等会計	法人会計	合計
	公1	公2	公3	公共通	小計			
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
①経常収益								
(1)基本財産運用益	0	0	0	295,500	295,500	0	0	295,500
基本財産受取利息	0	0	0	295,500	295,500	0	0	295,500
(2)特定資産運用益	303,000	0	0	0	303,000	0	0	303,000
特定資産受取利息	303,000	0	0	0	303,000	0	0	303,000
(3)受取会費	5,200,000	0	0	0	5,200,000	0	0	5,200,000
受取競技スポーツ会費	5,200,000	0	0	0	5,200,000	0	0	5,200,000
(4)受取受託金	12,557,314	2,880,372,304	0	0	2,892,929,618	2,119,986	0	2,895,049,604
受取スポーツ受託金	12,150,314	0	0	0	12,150,314	2,119,986	0	14,270,300
受取競技スポーツ受託金	407,000	0	0	0	407,000	0	0	407,000
受取学校開放受託金	0	2,880,372,304	0	0	2,880,372,304	0	0	2,880,372,304
(5)受取指定管理料	1,258,207,146	390,218,741	0	0	1,648,425,887	235,887,722	0	1,884,313,609
受取スポーツ施設指定管理料	1,258,207,146	0	0	0	1,258,207,146	220,400,927	0	1,478,608,073
受取青少年交流プラザ指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	0
受取生涯学習センター指定管理料	0	390,218,741	0	0	390,218,741	15,486,795	0	405,705,536
(6)受取利用料金	591,236,017	115,120,482	0	0	706,356,499	627,405,108	0	1,333,761,607
受取スポーツ施設利用料金	591,236,017	0	0	0	591,236,017	617,172,615	0	1,208,408,632
受取生涯学習センター利用料金	0	115,120,482	0	0	115,120,482	10,232,493	0	125,352,975
(7)事業収益	105,864,058	207,171,033	6,165,540,743	0	6,478,575,834	44,224,041	0	6,522,799,875
スポーツ等事業収益	105,864,058	4,627,444	0	0	110,491,502	44,224,041	0	154,715,543
野外教育事業収益	0	202,543,589	0	0	202,543,589	0	0	202,543,589
学校給食事業収益	0	0	6,165,540,743	0	6,165,540,743	0	0	6,165,540,743
(8)受取補助金等	111,007,100	37,083,210	994,037,142	0	1,142,127,452	0	0	1,142,127,452
受取スポーツ補助金	67,091,000	0	0	0	67,091,000	0	0	67,091,000
受取競技スポーツ補助金等	43,916,100	0	0	0	43,916,100	0	0	43,916,100
受取野外教育補助金	0	37,083,210	0	0	37,083,210	0	0	37,083,210
受取学校給食補助金	0	0	994,037,142	0	994,037,142	0	0	994,037,142
(9)受取負担金	20,053,229	0	0	0	20,053,229	0	0	20,053,229
受取競技スポーツ負担金	20,053,229	0	0	0	20,053,229	0	0	20,053,229
(10)受取寄附金	396,000	0	0	0	396,000	0	0	396,000
受取寄附金	396,000	0	0	0	396,000	0	0	396,000
(11)雑収益	4,144,761	0	1,370,586	0	5,515,347	1,399,907	6,681,661	13,596,915
受取利息	0	0	0	0	0	0	1,185,496	1,185,496
雑収益	4,144,761	0	1,370,586	0	5,515,347	1,399,907	5,496,165	12,411,419
経常収益 計	2,108,968,625	3,629,965,770	7,160,948,471	295,500	12,900,178,366	911,036,764	6,681,661	13,817,896,791
②経常費用								
(1)事業費	2,157,966,342	3,670,754,978	7,175,046,219	0	13,003,767,539	665,797,088	0	13,669,564,627
役員報酬	1,311,008	1,732,484	3,221,566	0	6,265,058	209,478	0	6,474,536
スポーツ・レクリエーション等事業費	2,035,739,423	505,534,307	0	0	2,541,273,730	651,490,894	0	3,192,764,624
競技スポーツ事業費	74,861,750	0	0	0	74,861,750	0	0	74,861,750
学校開放事業費	0	2,894,243,527	0	0	2,894,243,527	0	0	2,894,243,527
野外教育事業費	0	238,332,619	0	0	238,332,619	0	0	238,332,619
学校給食事業費	0	0	7,163,435,194	0	7,163,435,194	0	0	7,163,435,194
退職給付費用	16,112,565	9,657,953	3,446,000	0	29,216,518	5,007,482	0	34,224,000
賞与給付費用	29,941,596	21,254,088	4,943,459	0	56,139,143	9,089,234	0	65,228,377
(2)管理費	0	0	0	0	0	0	26,820,589	26,820,589
役員報酬	0	0	0	0	0	0	3,842,882	3,842,882
事務局費	0	0	0	0	0	0	22,841,283	22,841,283
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	48,000	48,000
賞与給付費用	0	0	0	0	0	0	88,424	88,424
経常費用 計	2,157,966,342	3,670,754,978	7,175,046,219	0	13,003,767,539	665,797,088	26,820,589	13,696,385,216
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 48,997,717	△ 40,789,208	△ 14,097,748	295,500	△ 103,589,173	245,239,676	△ 20,138,928	121,511,575
特定資産評価損益等	△ 838,400	0	0	0	△ 838,400	0	0	△ 838,400
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	△ 1,490,000	△ 1,490,000
評価損益等計	△ 838,400	0	0	0	△ 838,400	0	△ 1,490,000	△ 2,328,400
当期経常増減額	△ 49,836,117	△ 40,789,208	△ 14,097,748	295,500	△ 104,427,573	245,239,676	△ 21,628,928	119,183,175
2 経常外増減の部								
①経常外収益								
経常外収益 計	0	0	0	0	0	0	0	0
②経常外費用								
(1)固定資産除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用 計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 49,836,117	△ 40,789,208	△ 14,097,748	295,500	△ 104,427,573	245,239,676	△ 21,628,928	119,183,175
他会計振替額	49,836,117	40,789,208	14,097,748	0	104,723,073	△ 104,723,073	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	295,500	295,500	140,516,603	△ 21,628,928	119,183,175
一般正味財産期首残高	△ 122,805,586	△ 95,924,035	△ 53,126,527	7,003,653	△ 264,852,495	597,379,460	467,482,246	800,009,211
一般正味財産期末残高	△ 122,805,586	△ 95,924,035	△ 53,126,527	7,299,153	△ 264,556,995	737,896,063	445,853,318	919,192,386
II 指定正味財産増減の部								
(1)基本財産運用益	0	0	0	295,500	295,500	0	0	295,500
一般正味財産への振替額	0	0	0	△ 295,500	△ 295,500	0	0	△ 295,500
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	120,000,000	120,000,000	0	0	120,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	120,000,000	120,000,000	0	0	120,000,000
III 正味財産期末残高	△ 122,805,586	△ 95,924,035	△ 53,126,527	127,299,153	△ 144,556,995	737,896,063	445,853,318	1,039,192,386

(注) 公1:体育施設等を活用して、アマチュアスポーツを振興し、市民に生涯にわたって実践できる様々なスポーツ・レクリエーション活動等に親しむことができる場と機会を提供する事業
公2:学校施設、野外教育施設等を活用して、児童生徒等に学習の場と機会を提供する事業
公3:児童の食育を推進し、衛生的で安心・安全な給食事業等を実施することで、健全な心身の発展と豊かな食生活を実現する事業
公共通:公益目的事業全体に係るもの
収益:管理している施設を公益目的以外の事業で貸与する事業
法人会計:法人の運営に係るもの

財務諸表に対する注記

1 継続組織の前提に関する注記

該当なし。

2 重要な会計方針

重要な会計方針は、次のとおりである。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 : 償却原価法(定額法)を採用している。

なお、取得差額が少額であり重要性が乏しい銘柄については償却原価法を適用していない。

その他有価証券 : 決算期末日の市場価格等に基づく時価法を採用している。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法(収益性低下による簿価切り下げの方法)を採用している。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産 : 定率法による減価償却を実施している。

②リース資産 :

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

賞与引当金 : 当法人の賞与支給規定に基づき職員に支給する賞与に充てるため、支給見込額のうち当年度に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金 : 期末退職給付の自己都合要支給額に相当する額を計上している。

○ 退職給付関係

①採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として退職一時金制度を設けている。

②退職給付債務及びその内訳 (単位:円)

退職給付引当金	508,817,844
---------	-------------

③退職給付費用に関する事項 (単位:円)

退職給付費用	34,272,000
--------	------------

④退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

退職給付債務の計算に当たっては、退職一時金制度に基づく期末自己都合要支給額を基礎として計算している。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	119,758,800	0	0	119,758,800
基本財産引当預金	241,200	0	0	241,200
小 計	120,000,000	0	0	120,000,000
特定資産				
退職給付引当預金	379,082,435	34,272,000	95,987,791	317,366,644
退職給付引当有価証券	187,247,000	0	838,400	186,408,600
退職給付積立預金	72,038,220	0	0	72,038,220
なごや アスリート応援基金	1,165,111	396,000	509,187	1,051,924
小 計	639,532,766	34,668,000	97,335,378	576,865,388
合 計	759,532,766	34,668,000	97,335,378	696,865,388

4 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産か らの充当額)	(うち一般正味財産か らの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	119,758,800	119,758,800	0	0
基本財産引当預金	241,200	241,200	0	0
小 計	120,000,000	120,000,000	0	0
特定資産				
退職給付引当預金	317,366,644	0	0	317,366,644
退職給付引当有価証券	186,408,600	0	0	186,408,600
退職給付積立預金	72,038,220	0	72,038,220	0
なごや アスリート応援基金	1,051,924	0	1,051,924	0
小 計	576,865,388	0	73,090,144	503,775,244
合 計	696,865,388	120,000,000	73,090,144	503,775,244

5 担保に供している資産

該当なし。

6 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建 物	9,164,470	6,572,606	2,591,864
建物附属設備	1,111,904	698,410	413,494
什 器 備 品	4,232,432	2,027,289	2,205,143
リース資産	69,164,154	15,061,793	54,102,361
合 計	83,672,960	24,360,098	59,312,862

7 リース取引関係

(1) ファイナンス・リース取引

①所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

スポーツ事業におけるトレーニング機器及び施設の管理運営事業等における高速カラー印刷機である。

8 保証債務等の偶発債務

該当なし。

9 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
日本高速道路保有・債務返済機構債券	59,965,200	60,077,400	112,200
広島県公募公債	29,852,700	29,832,000	△ 20,700
浜松市公募公債	29,940,900	29,580,600	△ 360,300
合 計	119,758,800	119,490,000	△ 268,800

10 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
スポーツ振興事業推進補助金	名古屋市	0	109,486,000	109,486,000	0	
教育振興事業推進補助金	名古屋市	0	77,945,000	77,945,000	0	
食材料費補助金	名古屋市	0	916,092,142	916,092,142	0	
野外教育事業推進補助金	名古屋市	0	35,312,682	35,312,682	0	
小中学生科学教室開催事業費補助金	名古屋市	0	1,770,528	1,770,528	0	
体育協会負担金	名古屋市	0	20,053,229	20,053,229	0	
体育協会交付金	愛知県スポーツ協会	0	1,080,100	1,080,100	0	
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	441,000	441,000	0	
なごやアスリート応援基金	一般寄附者	1,165,111	396,000	509,187	1,051,924	一般正味財産
合 計		1,165,111	1,162,576,681	1,162,689,868	1,051,924	

11 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替	
基本財産受取利息	295,500

12 関連当事者との取引の内容

該当なし。

13 重要な後発事象

該当なし。

附属明細書

1 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	69,595,435	65,316,801	69,595,435		65,316,801
退職給付引当金	570,533,635	34,272,000	95,987,791		508,817,844

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記に記載の為、省略している。

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金(現金)	手元保管	運転資金として	8,697,937	
	現金預金(普通預金)	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	運転資金等として	1,319,253,045	
		決済用普通預金 丸八信用組合 本店	運転資金として	185,279,978	
		普通預金 丸八信用組合 本店	運転資金として	9,976,090	
		郵便振替口座 ゆうちょ銀行 比々野郵便局	運転資金として	120,020,395	
	未収金	名古屋市等からの未収金	受託事業等に対するもの	551,049,365	
	前払金	保険料等の前払金	傷害保険等の前払い	10,523,056	
	棚卸資産(商品)	スポーツ施設利用券 DVD	スポーツ・レクリエーション施設運営のため スポーツ普及のため	1,603,050 355,608	
流動資産合計				2,206,758,524	
(固定資産) 基本財産	投資有価証券	日本高速道路保有・債務返済機構債券 広島県公債 浜松市公債	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。 公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	59,965,200 29,852,700 29,940,900	
	基本財産引当預金	定期預金 名古屋銀行 大江支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している。	241,200	
特定資産	退職給付引当預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	退職金の支払いに備えたもの	317,366,644	
	退職給付引当有価証券	日本高速道路保有・債務返済機構債券 北海道公募公債 なごやか市民債 国際協力機構債	退職金の支払いに備えたもの 退職金の支払いに備えたもの 退職金の支払いに備えたもの 退職金の支払いに備えたもの	40,051,600 48,635,000 49,830,000 47,892,000	
	退職給付積立預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	退職金の支払いに備えたもの	72,038,220	
	なごやアスリート応援基金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	公益目的保有財産であり、アスリートの育成に活用するためのもの	1,051,924	
	その他 固定資産	諸準備積立預金	決済用普通預金 名古屋銀行 大江支店	大災害による損害等に備えたもの	31,860,964
		諸準備積立有価証券	広島県公債 三菱UFJリース プレミア投資法人債 北海道公募公債 国際協力機構債	大災害による損害等に備えたもの 大災害による損害等に備えたもの 大災害による損害等に備えたもの 大災害による損害等に備えたもの 大災害による損害等に備えたもの	69,608,000 99,352,000 99,080,000 48,635,000 47,892,000
建物		名古屋市中熱田区川並町2丁目22番地 鉄筋2階建 835.41平方メートル	公益目的保有財産であり、学校給食事業の施設として使用している。	2,591,864	
建物附属設備		冷凍設備等	公益目的保有財産であり、学校給食事業に使用している。	413,494	
什器備品		電話設備等	学校給食事業やスポーツ・レクリエーション等施設の管理運営事業に使用している。	2,205,143	
ソフトウェア		勤怠システム	職員等の出退勤等の管理に使用している。	4,484,700	
電話加入権		電話4基	公益目的保有財産であり、学校給食事業に使用している。	137,268	
リース資産		高速カラー印刷機 トレーニング機器	施設の管理運営事業等に使用している。 スポーツ事業に使用している。	1,875,785 52,226,576	
固定資産合計				1,157,228,182	
資産合計				3,363,986,706	
(流動負債)	未払金	取引先等に対する未払金 名古屋市に対する未払金	委託料等の未払い分 受託金収入等精算金	1,515,596,084 72,333,142	
	前受金	利用者等からの前受金	施設使用料等	38,983,300	
	預り金	従業員からの預り金	社会保険料等	61,481,782	
	賞与引当金	従業員に対するもの	次年度賞与の当年度経過分	65,316,801	
	リース債務	高速カラー印刷機 トレーニング機器	施設の管理運営事業等に使用している。 スポーツ事業に使用している。	776,005 11,665,092	
	流動負債合計				1,766,152,206
	(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	退職金の支払いに備えたもの	508,817,844
リース債務		高速カラー印刷機 トレーニング機器	施設の管理運営事業等に使用している。 スポーツ事業に使用している。	1,118,372 39,091,530	
資産除去債務		名古屋市中熱田区川並町2丁目22番地 鉄筋2階建 835.41平方メートル	原状回復義務に伴うもの	9,614,368	
固定負債合計				558,642,114	
負債合計				2,324,794,320	
正味財産				1,039,192,386	

〔 参 考 資 料 〕

I 加盟団体一覧（令和6年7月1日現在）

競技団体
名古屋市陸上競技協会
名古屋市水泳連盟
名古屋市ソフトテニス連盟
名古屋市卓球協会
名古屋市バレーボール協会
名古屋市バスケットボール協会
名古屋市軟式野球連盟
名古屋サッカー協会
名古屋柔道協会
名古屋市剣道連盟
名古屋市バドミントン協会
名古屋弓道協会
名古屋市相撲連盟
名古屋市庭球協会
名古屋市ソフトボール協会
名古屋市ハンドボール協会
名古屋市スキー協会
名古屋市スケート協会
名古屋市ホッケー協会
名古屋市ボート協会
名古屋市ラグビーフットボール協会
名古屋市自転車競技連盟
名古屋市体操協会
名古屋市フェンシング協会
名古屋市レスリング協会
名古屋ウエイトリフティング協会
名古屋市アマチュアボクシング連盟
名古屋市ヨット連盟
名古屋市山岳連盟
名古屋市アーチェリー協会

競技団体
名古屋市空手道連盟
名古屋市少林寺拳法協会
名古屋市日本拳法連盟
名古屋市アイスホッケー連盟
名古屋市ドッジボール協会
名古屋市バトン協会
名古屋市バウンドテニス協会
名古屋市綱引連盟
名古屋市ライフフィットネス連盟

(39団体)

地域団体
名古屋市千種区体育協会
名古屋市東区体育協会
名古屋市北区体育協会
名古屋市西区体育協会
名古屋市中村区体育協会
名古屋市中区体育協会
名古屋市昭和区体育協会
名古屋市瑞穂区体育協会
名古屋市熱田区体育協会
名古屋市中川区体育協会
名古屋市港区体育協会
名古屋市南区体育協会
名古屋市守山区体育協会
名古屋市緑区体育協会
名古屋市名東区体育協会
名古屋市天白区体育協会

(16団体)

Ⅱ 名古屋市のスポーツ施設等一覧（令和 6 年 7 月 1 日現在）

i （公財）名古屋市教育スポーツ協会が管理するスポーツ施設

施 設 名		T E L	F A X	所 在 地	
総合体育館	レインボーホール等	(052)614-3111	(052)614-3120	〒457-0833	南区東又兵ヱ町 5 丁目 1 番地の 16
	レインボープール等	(052)614-6211	(052)614-6215	〒457-0833	南区東又兵ヱ町 5 丁目 1 番地の 5
	サンホール	(052)614-3131	(052)614-3132	〒457-0833	南区東又兵ヱ町 5 丁目 1 番地の 16
露橋スポーツセンター		(052)362-4411	(052)362-4431	〒454-0022	中川区露橋二丁目 14 番 1 号
枇杷島スポーツセンター		(052)532-4121	(052)522-8520	〒451-0053	西区枇杷島一丁目 1 番 2 号
稲永スポーツセンター		(052)384-0300	(052)384-0303	〒455-0845	港区野跡五丁目 1 番 10 号
北スポーツセンター		(052)917-0501	(052)917-0510	〒462-0021	北区成願寺一丁目 6 番 12 号
中村スポーツセンター		(052)413-8021	(052)413-8023	〒453-0053	中村区中村町字待屋 43 番地の 1
名東スポーツセンター		(052)705-4948	(052)705-4952	〒465-0067	名東区猪高町大字高針字勢子坊 307 番地の 12
中スポーツセンター		(052)232-2327	(052)232-2364	〒460-0008	中区栄一丁目 30 番 10 号
南陽プール		(052)303-2015	(052)303-2016	〒455-0855	港区藤前四丁目 701 番地
富田北プール		(052)431-8991	(052)431-1466	〒454-0981	中川区吉津四丁目 3201 番地
黒川スポーツトレーニングセンター		(052)982-2770	(052)982-2775	〒462-0844	北区清水四丁目 17 番 17 号
港サッカー場		(052)384-0550	(052)384-7680	〒455-0845	港区野跡四丁目 11 番 12 号
港プール		(052)384-0300	(052)384-0303	〒455-0804	港区当知一丁目 1401 番地
中川プール		(052)413-8021	(052)413-8023	〒454-0851	中川区北江町 3 丁目 1 番地
楠プール		(052)917-0501	(052)917-0510	〒462-0006	北区若鶴町 126
山田プール		(052)532-4121	(052)522-8520	〒452-0806	西区五才美町 236-1
富田プール		(052)362-4411	(052)362-4431	〒454-0958	中川区東かの里町 809 番地
スポーツ情報センター		(052)614-7511	(052)614-7515	〒457-0833	南区東又兵ヱ町 5 丁目 1 番地の 16

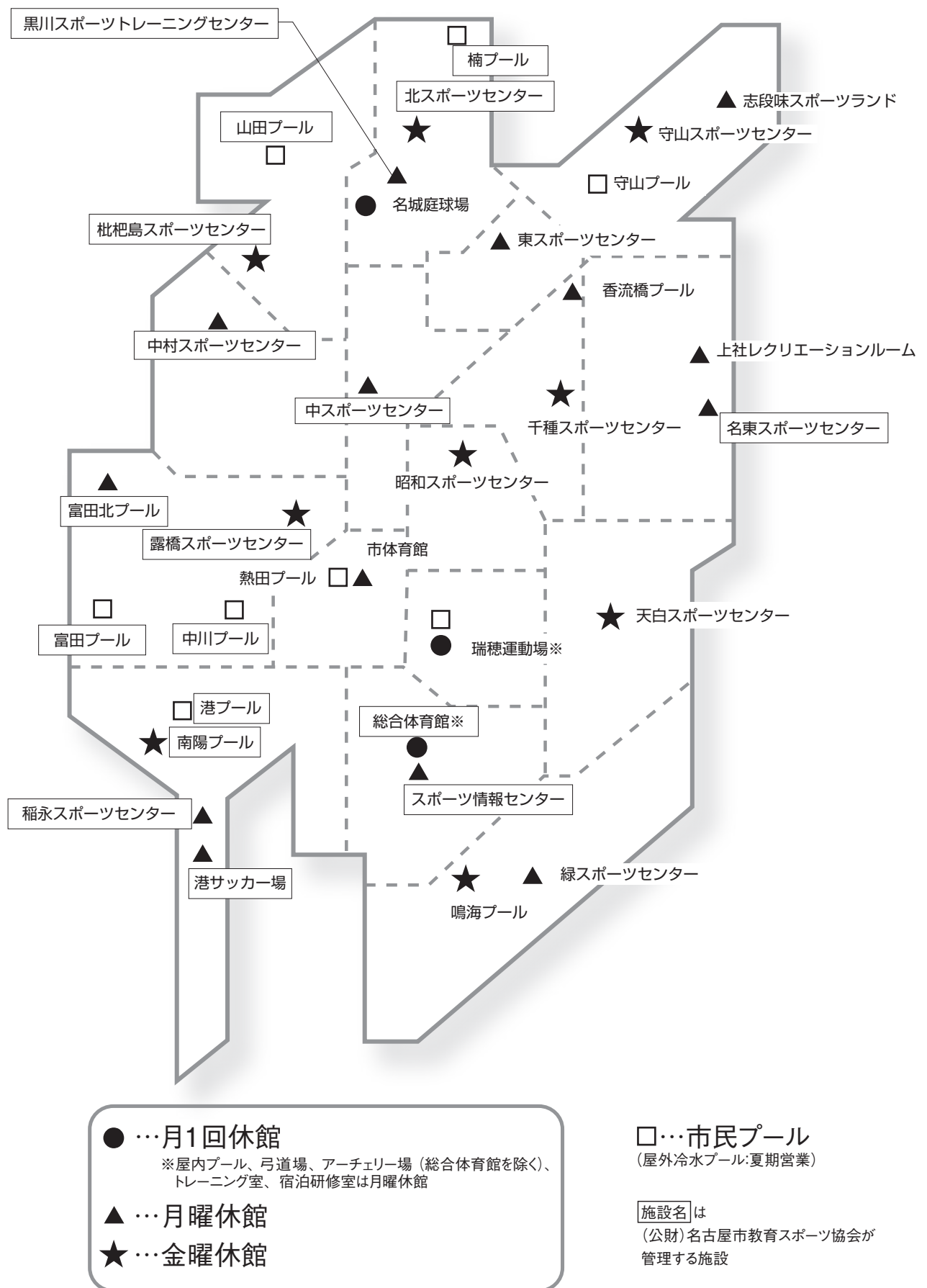
※ネーミングライツ（命名権）の導入により、総合体育館の愛称は日本ガイシ スポーツプラザ、港サッカー場の愛称はCS アセット 港サッカー場です。

ii 他の管理者が管理するスポーツ施設

施 設 名		T E L	F A X	所 在 地	
瑞穂運動場		(052)836-8200	(052)836-8206	〒467-0062	瑞穂区山手通 5 丁目 1 番地（陸上競技場内）
市体育館		(052)872-6655	(052)872-6657	〒456-0023	熱田区六野二丁目 5 番 3 号
天白スポーツセンター		(052)806-0551	(052)806-1164	〒468-0051	天白区植田三丁目 1502 番地
緑スポーツセンター		(052)891-7775	(052)891-7779	〒458-0033	緑区相原郷一丁目 2901 番地
千種スポーツセンター		(052)782-0700	(052)782-6700	〒464-0808	千種区星が丘山手 121 番地
東スポーツセンター		(052)723-0411	(052)723-0440	〒461-0047	東区大幸南一丁目 1 番 10 号
昭和スポーツセンター		(052)733-6831	(052)733-6832	〒466-0000	昭和区吹上二丁目 6 番 15 号
守山スポーツセンター		(052)792-7066	(052)792-7067	〒463-0801	守山区竜泉寺二丁目 112 番地
志段味スポーツランド		(052)736-3766	(052)736-3772	〒463-0003	守山区大字下志段味字生下り 2287 番地の 1
鳴海プール		(052)891-9314	(052)891-4301	〒458-0847	緑区浦里一丁目 66 番地
香流橋プール		(052)773-5311	(052)773-5805	〒464-0002	千種区香流橋一丁目 2 番 35 号
名城庭球場		(052)912-3321	(052)912-3196	〒462-0846	北区名城一丁目 3 番 3 号
上社レクリエーションルーム		(052)771-0021	(052)760-1230	〒465-0025	名東区上社一丁目 802 番地
名城プール		(052)912-0499	(052)912-0499	〒462-0846	北区名城一丁目 2 番 13 号
熱田プール		(052)882-8091	(052)882-8091	〒456-0023	熱田区六野二丁目 5 番 2 号
守山プール		(052)794-1319	(052)794-1319	〒463-0083	守山区村合町 197 番地

※ネーミングライツ（命名権）の導入により、瑞穂運動場の愛称はパロマ瑞穂スポーツパークです。

iii 名古屋市のスポーツ施設所在地概略図



iv 他の管理者が管理する青少年施設

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
青少年交流プラザ	(052)991-8440	(052)991-8441	〒462-0845	北区柳原三丁目 6 番 8 号
青少年宿泊センター (青少年交流プラザ分館)	(052)624-4401	(052)624-4403	〒459-8001	緑区大高町字蝮池 4 番地の 6

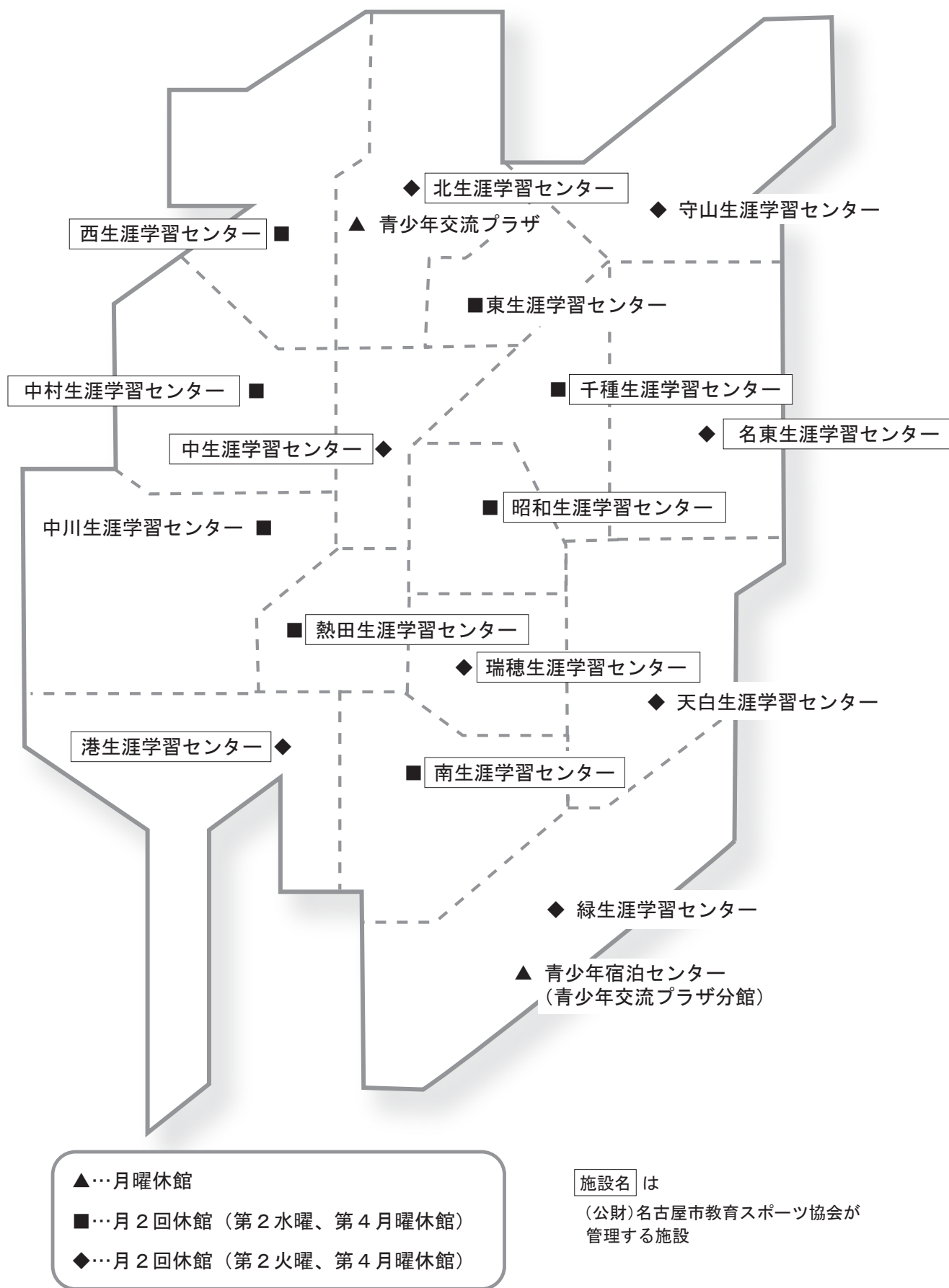
v (公財)名古屋市教育スポーツ協会が管理する生涯学習センター

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
千種生涯学習センター	(052)722-9666	(052)722-9696	〒464-0072	千種区振甫町 3 丁目 34 番地
北生涯学習センター	(052)981-3636	(052)981-3590	〒462-0841	北区黒川本通 2 丁目 16 番地の 3
西生涯学習センター	(052)532-1551	(052)532-1552	〒451-0061	西区浄心一丁目 1 番 45 号
中村生涯学習センター	(052)471-8121	(052)471-8122	〒453-0044	中村区鳥居通 3 丁目 1 番地の 3
中生涯学習センター	(052)321-5511	(052)321-5512	〒460-0016	中区橘一丁目 7 番 11 号
昭和生涯学習センター	(052)852-1144	(052)852-1143	〒466-0023	昭和区石仏町 1 丁目 48 番地
瑞穂生涯学習センター	(052)871-2255	(052)871-2256	〒467-0831	瑞穂区惣作町 2 丁目 27 番地の 3
熱田生涯学習センター	(052)671-7231	(052)671-7232	〒456-0036	熱田区熱田西町 2 番 13 号
港生涯学習センター	(052)653-5171	(052)653-5172	〒455-0013	港区港陽一丁目 10 番 18 号
南生涯学習センター	(052)613-1310	(052)613-1326	〒457-0833	南区東又兵衛町 5 丁目 1 番地の 10
名東生涯学習センター	(052)703-2622	(052)703-2732	〒465-0051	名東区社が丘三丁目 802 番地

vi 他の管理者が管理する生涯学習センター

施 設 名	T E L	F A X	所 在 地	
東生涯学習センター	(052)932-4881	(052)932-4882	〒461-0004	東区葵一丁目 3 番 21 号
中川生涯学習センター	(052)362-3883	(052)362-3890	〒454-0037	中川区富川町 1 丁目 2 番地の 12
守山生涯学習センター	(052)791-7161	(052)791-7162	〒463-0067	守山区守山三丁目 2 番 6 号
緑生涯学習センター	(052)621-9121	(052)621-6915	〒458-0801	緑区鳴海町字本町 54 番地
天白生涯学習センター	(052)802-1161	(052)802-1162	〒468-0027	天白区天白町大字島田字黒石 4050 番地

vii 名古屋市の生涯学習センター等 所在地概略図



Ⅲ 学校開放事業一覧

ⅰ トワイライトスクール及びトワイライトルーム事業

1 概要（令和6年7月1日現在）

トワイライトスクール			トワイライトルーム		
事業名	トワイライトスクール		事業名	トワイライトルーム	
実施校	199校		実施校	50校	
活動場所	放課後学級ルーム、体育館及び運動場等		活動場所	プレイルーム、ライフルーム、体育館及び運動場等	
事業趣旨	児童の学校外活動として実施		事業趣旨	児童の学校外活動、留守家庭児童への活動支援	
参加対象	参加を希望する児童		参加対象	参加を希望する児童 （選択事業登録は別途登録が必要）	
活動時間	授業のある日	授業終了後～18時	活動時間	授業のある日	授業終了後～17時 （授業終了後～19時）
	授業のない日 （土曜日・長期休業期間中）	9時～18時 *日曜日、休日及び年末年始は休み		授業のない日 （土曜日）	9時～17時 （9時～18時） *休日及び年末年始は休み
				授業のない日 （土曜日を除く）	8時～17時 （8時～19時） *日曜日、休日及び年末年始は休み
保護者負担	一般登録	参加無料（ただし、保険関係負担金及び特別活動に伴う実費相当額の負担あり）	保護者負担	一般登録	参加無料（ただし、保険関係負担金及び特別活動に伴う実費相当額の負担あり）
				選択事業登録	上記に加えて、選択事業登録利用料 月額 ～18時1,500円、～19時6,500円

※（ ）は、選択事業登録の活動時間

2 実施校の推移（令和6年7月1日現在）

年度	トワイライトスクール		トワイライトルーム		計	うち生涯 学習開放
		うち生涯 学習開放		うち生涯 学習開放		
28	206	26	36	1	242	27
29	204	25	41	2	245	27
30	206	25	46	2	252	27
R1	205	25	47	2	252	27
R2	204	25	48	2	252	27
R3	204	25	50	2	254	27
R4	202	24	50	3	252	27
R5	201	24	49	3	250	27
R6	199	24	50	3	249	27

3 参加登録者等の推移

年度	トワイライトスクール		トワイライトルーム		生涯学習開放	
	校数	参加登録者数	校数	参加登録者数	校数	利用者数
28	206	45,372	36	8,870	27	272,114
29	204	44,976	41	10,586	27	262,116
30	206	44,814	46	11,760	27	272,329
R1	205	44,000	47	12,368	27	266,706
R2	204	36,238	48	10,954	27	17,381
R3	204	35,281	50	10,618	27	116,425
R4	202	33,774	50	10,412	27	179,220
R5	201	35,375	49	10,714	27	209,432

4 実施状況（小学校249校（令和6年7月1日現在））

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
千種	内山小	H18. 5. 19	
	春岡小	H10. 9. 4	
	千種小	H15. 5. 19	
	高見小	H12. 6. 12	
	大和小	H19. 5. 24	
	田代小	H14. 6. 5	
	上野小	H11. 7. 16	
	東山小	H12. 5. 19	
	自由ヶ丘小	H20. 6. 27	
	千石小	H21. 3. 10	
	富士見台小	H14. 5. 29	H26. 4. 1
	星ヶ丘小	H18. 5. 11	
	宮根小	H16. 5. 31	
	千代田橋小	H17. 6. 13	
	見付小	H13. 5. 31	
東	旭丘小	H14. 10. 17	
	筒井小	H12. 5. 8	
	東桜小	H19. 6. 4	
	矢田小	H11. 11. 1	
	山吹小	H14. 6. 3	H29. 4. 1
	東白壁小	H16. 5. 27	
	葵 小	H18. 5. 25	H30. 4. 1
	明倫小	H17. 6. 30	
	砂田橋小	H13. 6. 7	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
北	飯田小	H16. 5. 11	
	大杉小	H20. 5. 27	
	清水小	H12. 6. 1	
	杉村小	H19. 5. 31	
	名北小	H14. 6. 3	H28. 4. 1
	金城小	H11. 7. 16	(H22. 1. 1) H25. 4. 1
	城北小	H13. 6. 18	
	六郷小	H19. 5. 28	
	楠 小	H19. 6. 21	
	光城小	H14. 5. 13	
	東志賀小	H19. 6. 21	
	味鋤小	H18. 6. 1	R4. 4. 1
	西味鋤小	H17. 6. 9	
	楠西小	H15. 6. 19	
	如意小	H10. 9. 3	
	宮前小	H12. 4. 22	H26. 4. 1
	川中小	H18. 6. 1	
	六郷北小	H18. 5. 11	
	辻 小	H13. 5. 19	
西	榎 小	H15. 6. 5	
	栄生小	H19. 5. 31	
	上名古屋小	H17. 6. 16	
	城西小	H13. 6. 1	
	児玉小	H9. 10. 9	R3. 4. 1
	枇杷島小	H18. 5. 29	
	南押切小	H19. 6. 7	
	庄内小	H12. 5. 13	
	稲生小	H13. 6. 16	
	山田小	H18. 6. 1	
	平田小	H11. 9. 20	H27. 4. 1
	比良小	H17. 2. 3	
	大野木小	H19. 5. 24	
	浮野小	H14. 6. 3	
	比良西小	H12. 5. 29	
	中小田井小	H20. 6. 10	
	なごや小		H29. 5. 1

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
中村	中村小	H18. 5. 25	
	牧野小	H13. 5. 14	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	米野小	H19. 5. 17	
	日比津小	H19. 4. 23	
	柳 小	H12. 5. 29	
	稲葉地小	H11. 7. 14	
	日吉小	H16. 5. 20	
	岩塚小	H12. 5. 11	H26. 4. 1
	豊臣小	H14. 5. 16	
	千成小	H15. 5. 19	
	諏訪小	H10. 9. 3	
	稲西小	H18. 5. 22	
	八社小	H13. 5. 28	H25. 4. 1
	ほのか小	H17. 6. 21	H26. 4. 1
	笹島小	H22. 4. 12	
15校	栄 小	H11. 7. 2	
	松原小	H12. 5. 25	
	橘 小	H18. 5. 25	
	平和小	H14. 6. 6	
	老松小	H17. 5. 26	
	大須小	H13. 5. 28	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	正木小	H19. 6. 18	H29. 4. 1
	千早小	H15. 5. 29	
	丸の内小	R5. 4. 1	
中	鶴舞小	H10. 7. 13	
	吹上小	H17. 6. 6	
	村雲小	H18. 6. 8	
	松栄小	H16. 5. 18	H26. 4. 1
	御器所小	H11. 10. 7	
	広路小	H12. 5. 11	(H22. 1. 1) H25. 4. 1
	八事小	H20. 6. 13	
	白金小	H13. 5. 14	
	滝川小	H19. 5. 31	
9校	瑞穂	弥富小	H11. 9. 8 H25. 4. 1
	御劔小	H16. 5. 13	
	堀田小	H13. 6. 21	
	汐路小	H12. 5. 13	
	高田小	H14. 5. 30	H28. 4. 1
	瑞穂小	H18. 5. 22	
	井戸田小	H15. 5. 26	
	穂波小	H10. 9. 3	
	豊岡小	H18. 6. 12	
昭和	陽明小	H13. 5. 24	
	中根小	H18. 5. 18	
	高蔵小	H10. 7. 16	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	旗屋小	H11. 7. 13	
	千年小	H17. 5. 30	
	船方小	H12. 6. 15	H. 25. 4. 1
	白鳥小	H15. 6. 16	
	野立小	H20. 6. 17	
	大宝小	H18. 6. 1	H28. 4. 1

区	学校名	放課後学級 開校日	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
中川	広見小	H19. 9. 20	
	露橋小	H16. 6. 10	
	愛知小	H13. 5. 28	
	八熊小	H15. 6. 9	
	昭和橋小	H11. 7. 15	
	常磐小	H18. 5. 29	
	八幡小	H15. 6. 19	H27. 4. 1
	荒子小	H14. 6. 6	
	正色小	H19. 5. 21	
	篠原小	H18. 6. 19	
	戸田小	H14. 5. 23	H27. 4. 1
	豊治小	H19. 5. 17	
	千音寺小	H18. 6. 12	H28. 4. 1
	長須賀小	H20. 5. 30	
	万場小	H16. 5. 24	
	野田小	H15. 6. 2	
	明正小	H19. 5. 17	
	中島小	H12. 5. 22	
	玉川小	H19. 5. 21	
	西中島小	H19. 5. 21	
	五反田小	H13. 5. 17	
	春田小	H12. 6. 26	
	赤星小	H20. 5. 23	
	西前田小	H17. 6. 24	
24校	東築地小	H15. 6. 13	
	中川小	H19. 5. 10	
	大手小	H17. 4. 21	
	港西小	H13. 5. 31	
	小碓小	H15. 5. 26	H30. 4. 1
	西築地小	H19. 6. 21	
	高木小	H19. 6. 18	
	南陽小	H12. 5. 29	H25. 4. 1
	港楽小	H18. 5. 29	
港	成章小	H18. 5. 25	
	明德小	H9. 10. 28	
	稲永小	H13. 6. 21	H26. 4. 1
	東海小	H16. 5. 24	
	野跡小	H17. 5. 19	
	当知小	H19. 6. 14	
	正保小	H12. 5. 8	R6. 4. 1
	神宮寺小	H11. 9. 3	
	西福田小	H14. 5. 15	
	福田小	H16. 6. 17	
	福春小	H18. 4. 1	
	豊田小	H13. 6. 7	
	明治小	H15. 5. 26	
	呼続小	H16. 6. 3	
	白水小	H12. 5. 30	
20校	桜 小	H17. 5. 23	
	道德小	H13. 6. 9	
	笠寺小	H12. 6. 1	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	大生小	H15. 5. 19	
	大磯小	H14. 6. 3	
	千鳥小	H18. 5. 18	
	菊住小	H11. 7. 14	R2. 7. 1
	宝 小	H21. 1. 20	
	柴田小	H19. 6. 14	
南	伝馬小	H14. 5. 16	
	星崎小	H19. 7. 2	
	春日野小	H18. 6. 8	
	笠東小	H18. 6. 8	
	宝南小	H21. 1. 16	
18校			

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
守山	大森小	H16. 5. 10	
	小幡小	H12. 6. 26	H29. 4. 1
	守山小	H12. 6. 15	H28. 4. 1
	廿軒家小	H15. 5. 22	
	鳥羽見小	H20. 6. 27	
	瀬古小	H18. 6. 29	
	志段味東小	H14. 10. 7	
	志段味西小	H20. 6. 6	H30. 4. 1
	白沢小	H14. 6. 20	
	苗代小	H25. 4. 12	
	天子田小	H13. 6. 16	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	二城小	H20. 6. 3	
	森孝東小	H21. 1. 30	
	森孝西小	H11. 9. 2	
	西城小	H19. 6. 1	
	大森北小	H13. 5. 21	
	小幡北小	H10. 7. 15	H27. 4. 1
	吉根小	H19. 6. 21	
	下志段味小	H24. 4. 9	
	上志段味小	R3. 4. 6	

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
緑	鳴海小	H12. 5. 15	
	平子小	H15. 5. 22	
	鳴海東部小	H18. 5. 31	H31. 4. 1
	東丘小	H19. 6. 21	
	鳴子小	H19. 5. 28	
	有松小	H20. 7. 11	H25. 4. 1
	大高小	H14. 5. 20	
	緑 小	H19. 6. 18	
	片平小	H15. 5. 29	
	戸笠小	H13. 5. 31	H30. 4. 1
	太子小	H18. 5. 11	
	旭出小	H14. 5. 27	
	浦里小	H11. 7. 15	
	黒石小	H19. 5. 24	H28. 4. 1
	長根台小	H16. 6. 10	
	桶狭間小	H18. 6. 8	
	相原小	H13. 5. 14	
	桃山小	H17. 5. 26	
	南陵小	H12. 11. 18	(H21. 4. 1) H25. 4. 1
	大高南小	H24. 6. 28	
	徳重小	H20. 10. 31	
	滝ノ水小	H17. 6. 9	
	大清水小	H20. 6. 27	
	常安小	H10. 7. 13	
	小坂小	H15. 6. 30	H26. 4. 1
	熊の前小	H20. 6. 20	

区	学校名	放課後学級	(放課後子どもプラン) トワイライトルーム
名東	猪高小	H14. 6. 17	
	藤が丘小	H16. 5. 28	H28. 4. 1
	香流小	H20. 5. 16	H28. 4. 1
	猪子石小	H18. 5. 25	
	高針小	H15. 5. 19	
	西山小	H11. 10. 1	
	名東小	H20. 6. 3	
	梅森坂小	H17. 5. 23	H26. 4. 1
	本郷小	H12. 4. 10	
	上社小	H14. 5. 20	
	豊が丘小	H19. 6. 4	
	引山小	H12. 6. 15	
	極楽小	H10. 9. 2	R4. 4. 1
	平和が丘小	H13. 5. 24	
	前山小	H13. 5. 17	
	牧の原小	H18. 5. 15	
天白	野並小	H12. 4. 27	
	八事東小	H16. 4. 26	
	表山小	H18. 5. 25	
	平針小	H15. 5. 15	H29. 4. 1
	平針南小	H24. 6. 18	
	植田小	H21. 11. 2	
	山根小	H17. 6. 9	
	相生小	H14. 6. 3	
	大坪小	H15. 6. 5	H29. 4. 1
	原 小	H19. 6. 12	
	植田南小	H21. 11. 26	
	平針北小	H13. 6. 18	
	植田北小	H18. 5. 29	
	たかしま小	R6. 4. 1	

ii 学校開放事業の概要（令和6年7月1日現在）

事業名		生涯学習開放
開放校		見付小、高見小、旭丘小、矢田小、山吹小、比良西小、諏訪小、松原小、吹上小、滝川小、穂波小、八熊小、春田小、明德小、東海小、神宮寺小、明治小、道徳小、伝馬小、守山小、森孝西小、相原小、常安小、本郷小、極楽小、表山小、相生小 計27校
開放場所		体育館、運動場、特別活動室、研修会議室、図書室、音楽室及びプール等
事業趣旨		地域の生涯学習や生涯スポーツの場を提供
参加対象		一般市民(団体・個人登録が必要)
開放時間	平日	18時～21時
	土曜日、日曜日及び休日(月曜日を除く)	9時～正午及び13時～17時
使用料		600～2,250円 図書室及びプールは無料
休業日		月曜日及び年末年始

Ⅳ 令和5年度施設利用状況

ⅰ スポーツ・レクリエーション施設

	総利用者数	レインボー ホール	レインボー アイス アリーナ	競技場				弓道 (練習) 場	アーチェ リー (練習) 場	軽運動室	トレーニング (サウナ) 室	
				第1競技場等 ※1	第2競技場等 ※2	第3競技場等 ※3	競技場 計					
												温水プール
総 合 体 育 館	1,638,156	1,239,863	0	121,447	51,708		173,155	38,694	7,392	1,626	68,555	50,726
露 橋 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	148,367			49,535	17,762	18,205	85,502				35,719	22,571
枇 杷 島 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	315,377			145,227	29,754		174,981	3,348		14,988	66,633	47,225
稲 永 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	233,632			94,234	27,202		121,436	8,594		25,204	70,934	
北 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	226,101			55,316	21,409		76,725	3,400		15,017	65,530	60,849
中 村 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	201,039			0	29,374		29,374	6,511		22,640	75,145	62,061
名 東 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	254,479			74,404	34,157		108,561			16,543	62,621	62,451
中 ス ポ ー ツ セ ン タ ー	199,340			0	0		0			31,023	95,076	62,281
港 サ ッ カ ー 場	44,712											
南 陽 プ ー ル	88,522									8,625	29,344	49,344
山 田 西 ブ ー ル	38,604											38,604
富 田 北 ブ ー ル	79,555				21,032		21,032					58,523
港 プ ー ル	12,114											
中 川 プ ー ル	3,848											
楠 プ ー ル	4,512											
富 田 プ ー ル	4,885											
山 田 プ ー ル	5,070											
黒川スポーツレ ーニングセンター	111,021									21,459	89,562	
中 村 生 涯 学 習 セ ン タ ー	72,035											
熱 田 生 涯 学 習 セ ン タ ー	60,499											
名 東 生 涯 学 習 セ ン タ ー	55,224											
千 種 生 涯 学 習 セ ン タ ー	78,871											
北 生 涯 学 習 セ ン タ ー	101,688											
中 生 涯 学 習 セ ン タ ー	69,294											
昭 和 生 涯 学 習 セ ン タ ー	66,278											
瑞 徳 生 涯 学 習 セ ン タ ー	70,396											
港 生 涯 学 習 セ ン タ ー	44,586											
南 生 涯 学 習 セ ン タ ー	71,336											
西 生 涯 学 習 セ ン タ ー	75,013											
計	4,374,554	1,239,863	0	540,163	232,398	18,205	790,766	60,547	7,392	157,125	659,119	514,635

※1 総合体育館第2競技場を含む

※2 総合体育館第3競技場及び富田北プール体育室、露橋柔道場を含む

※3 露橋剣道場を含む

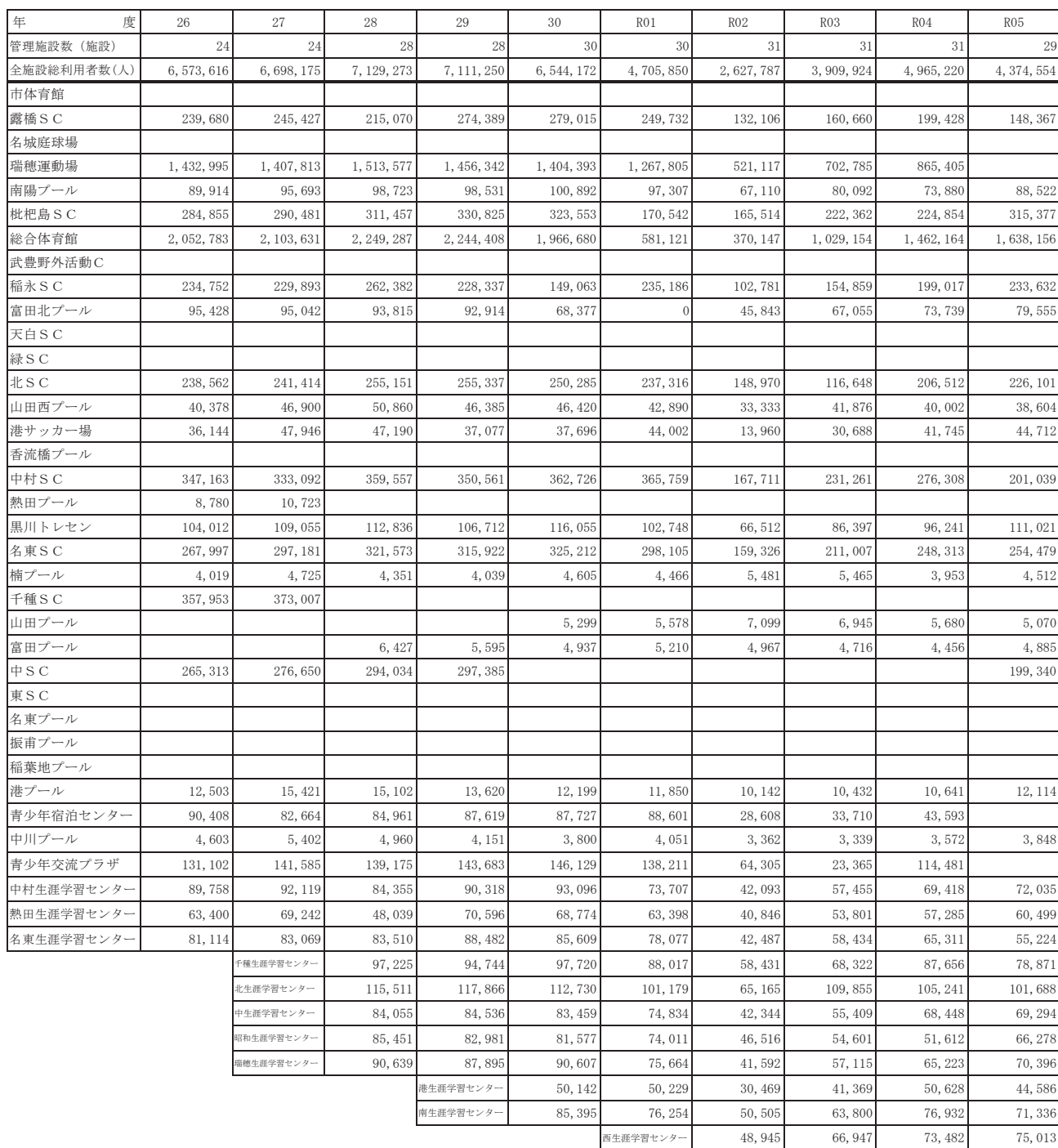
※4 総合体育館貴賓室・飛込練習室・宿泊研修室・選手控室・レセプションホール・研修室・会議室・和室の利用、及び生涯学習センターの利用を含む

※5 休場について

◆総合体育館	文化施設 受変電設備取替工事	R6.2.1～R6.2.25
◆総合体育館	競泳プール 受変電設備改修工事・天井脱落対策工事・トイレ改修等工事	R5.3.1～R6.7.31
◆レインボーホール	50m温水プール 受変電設備改修工事・トイレ改修等工事	R5.4.1～R6.7.31
	宿泊研修棟 受変電設備改修工事・トイレ改修等工事	R5.5.1～R6.7.31
	弓道場 受変電設備改修工事・トイレ改修等工事	R6.1.1～R6.6.30
◆露橋SC	全館 空調機・トイレ・ろ過機改修工事	R5.11.1～R6.3.31
◆中村SC	第1競技場 天井脱落対策工事・トイレ改修工事	R5.4.1～R6.3.31
◆中SC	第1・2競技場 天井脱落対策工事・トイレ改修工事	R5.4.1～R6.3.31
	軽運動室 天井脱落対策工事・トイレ改修工事	R5.7.1～R5.7.31
	第2会議室 天井脱落対策工事・トイレ改修工事	R5.8.1～R5.9.30
◆北LLC	全館 高架水槽改修工事	R5.12.14～R5.12.23
◆港LLC	体育室 照明改修工事	R6.1.15～R6.2.22
◆名東LLC	体育室 照明改修工事	R6.1.15～R6.3.22
	駐車場 管制装置更新工事	R6.2.13～R6.3.14

プール				陸上競技場 (本陸・北陸 レク広場)	ラグビー (練習) 場 サッカー場	野球場	テニス コート	相撲場	会議室 研修施設等 ※4	
屋内		屋外	プール 計							
レインボー プール (競泳・競泳)	小計	市民プール								
0	50,726		50,726						58,145	総 合 体 育 館
	22,571		22,571						4,575	露 橋 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
	47,225		47,225						8,202	枇 杷 島 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
									7,464	稲 永 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
	60,849		60,849						4,580	北 山 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
	62,061		62,061						5,308	中 村 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
	62,451		62,451						4,303	名 東 ス ポ ー ツ セ ン タ ー
	62,281		62,281						10,960	中 七 生 涯 学 習 セ ン タ ー
					42,816				1,896	港 サ ッ カ ー 場
	49,344		49,344						1,209	南 陽 プ ー ル
	38,604		38,604							山 田 西 ブ ー ル
	58,523		58,523							富 田 北 ブ ー ル
		12,114	12,114							港 プ ー ル
		3,848	3,848							中 川 プ ー ル
		4,512	4,512							楠 プ ー ル
		4,885	4,885							富 田 プ ー ル
		5,070	5,070							山 田 プ ー ル
										黒川スポーツトレ ーニングセンター
									72,035	中 七 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									60,499	熱 田 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									55,224	名 東 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									78,871	千 種 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									101,688	北 七 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									69,294	中 七 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									66,278	昭 和 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									70,396	瑞 穂 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									44,586	港 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									71,336	南 七 生 涯 学 習 セ ン タ ー
									75,013	西 七 生 涯 学 習 セ ン タ ー
0	514,635	30,429	545,064	0	42,816	0	0	0	871,862	計

1 体育施設等



– 80 –

要 覧 2024

発行年月：令和6年10月発行

発 行：公益財団法人 名古屋市教育スポーツ協会
〒457-0833 名古屋市南区東又兵衛町5丁目1番地の16
TEL (052) 614-7500 (代)
FAX (052) 614-7525
URL <https://www.nespa.or.jp/>

発行部数：250部 年刊 無料 特定

印刷製本：株式会社マルワ



Nagoya city Education and
SPorts Association



(公財)名古屋教育スポーツ協会は
子育て支援企業の認定事業者です。



(公財)名古屋教育スポーツ協会は
プライバシーマークの認定事業者です。

